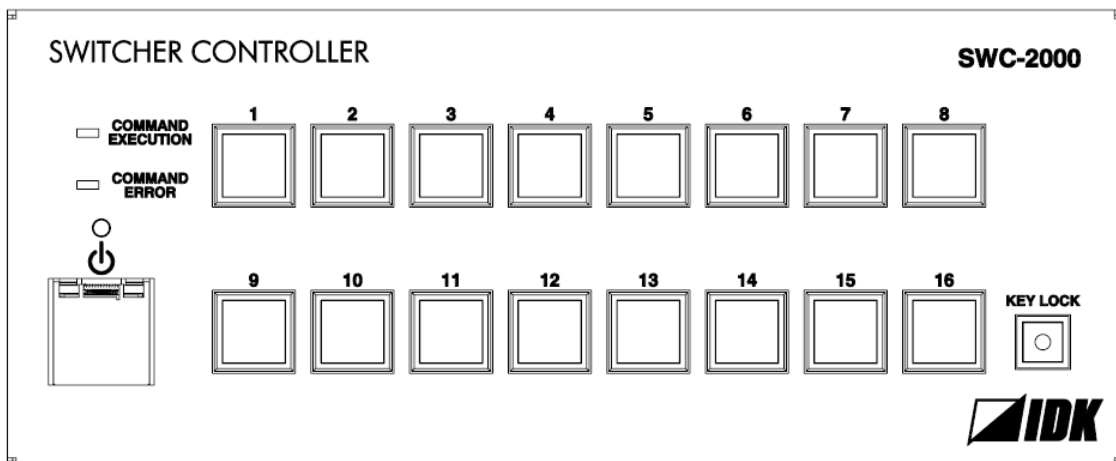


スイッチャ用リモートコントローラ

SWC-2000

<ユーザズガイド>

取扱説明書 Ver.1.6.0



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

商標について

- Microsoft, Windows, および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
- Javascript®は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

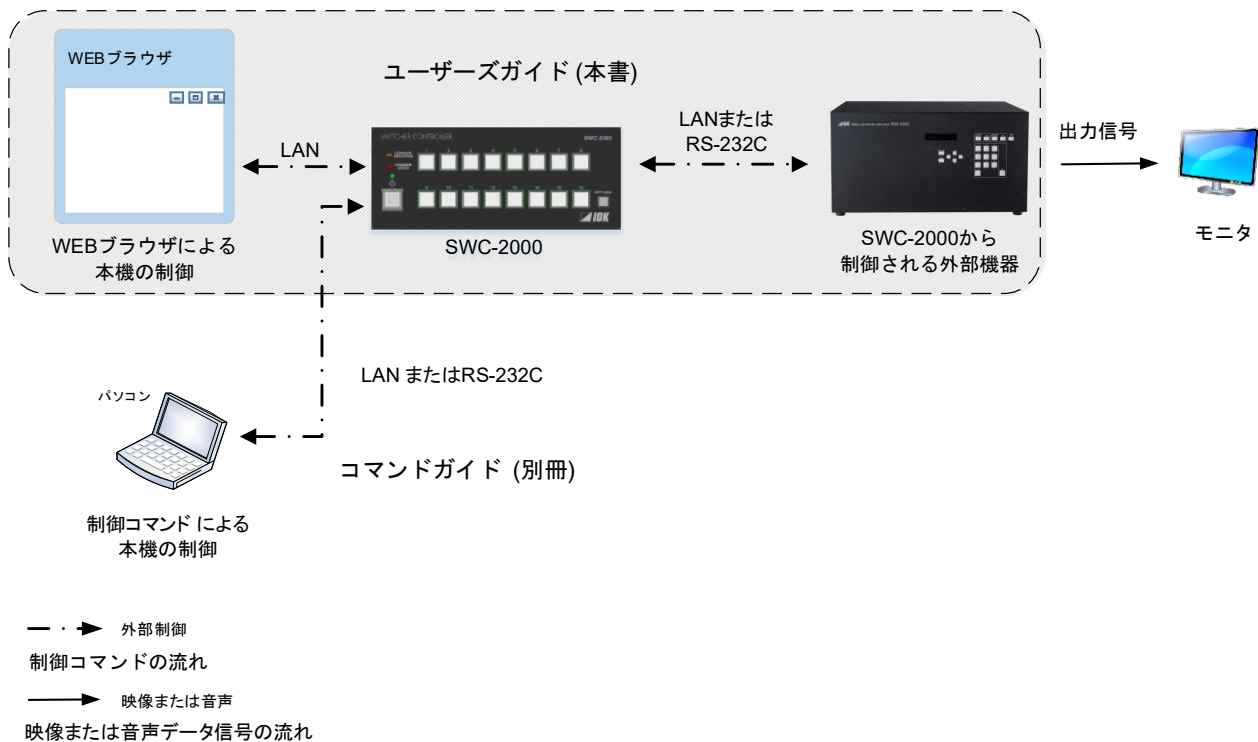
この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図、WEB メニューが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.idk.co.jp/>

取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、目的に応じて分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。なお、コマンドガイドについては、ホームページからの提供となります。本書では、下の網掛けの範囲を説明します。



この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

安全上のご注意

本書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- ・ この「安全上のご注意」は、弊社製品全般についての内容です。そのため、お客様がお持ちの製品には該当しない内容が含まれる場合があります。
- ・ 内容によっては、取扱説明書内で詳細に説明しているものもあります。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。図の中や近くに絵や文章で具体的な注意内容を示します。	 高温面注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近くに絵や文章で具体的な禁止内容を示します。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに絵や文章で具体的な指示内容を示します。	 プラグを抜く

警告

重い製品を持ち上げるときは



指示

●持ち上げるときは2人以上で作業する

製品を持ち上げるとき、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に下ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。

1人での持ち上げは負傷を招く原因になります。

設置・接続するときは



禁止


●不安定な場所に置かない

水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。





●振動のある場所に設置するときは固定する

振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。


警告

 指 示	<p>●据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く 機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。 本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p> <p>●必ずアースに接続する アース接続せずに使用すると、感電の原因になります。</p> <p>●受電/給電機能を使用するときは、各受電/給電規格に適合したケーブルを使用する 規格に適合したケーブルで接続しないと、火災・故障の原因になります。</p>
---	--

お使いのときは




 禁 止	<p>●異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●電源コード・ACアダプター・受電/給電用ケーブルは傷つけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加工したり、過熱したりしない ・ 引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・ 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・ACアダプターが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 分解禁止	<p>●修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 接触禁止	<p>●雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない 感電の原因になります。</p>
 指 示	<p>●電源プラグのほこりやゴミは拭き取る 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>

もしものときは





 プラグを抜く	<p>●煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因になります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
--	---

注意

設置・接続するときは

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。 ● ほこり・油煙・湿気の多い場所に置かない ほこりの多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。 ● 通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。 ● 本体の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。 ● コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。 ● 海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。 ● ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。 ● ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にしないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。

お使いのときは

 高温面注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 高温面に触れない 十分な空間を確保せず設置すると、他の機器の動作不良の原因になります。 高温面に触れるとやけどの原因になります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 付属の電源コード・AC アダプター以外のものは使用しない ● 付属の電源コード・AC アダプターは本製品専用のため、他の製品には使用しない 不適合により、火災・感電の原因になります。
 プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ● 長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。 ● お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜く 感電の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ● 放熱を妨げない 冷却用のファンを使って内部の熱を放出しています。 ファンが停止した場合は、電源を切り、弊社営業部までお問い合わせください。 ファンが停止した状態で使用を続けると、内部の温度が上昇し、故障・火災・感電の原因になります。 ● 定期的に清掃する 通風孔や冷却用のファン付近にほこりが付着すると、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。 また、長年のご使用で内部にほこりがたまると、火災・感電や故障の原因となることがありますので、定期的に内部の清掃を行うことをお勧めします。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃につきましては、弊社営業部までお問い合わせください。

目次

1	同梱物の確認.....	10
2	ラック取付金具.....	11
2.1	シングル用ラック取付金具.....	12
2.1.1	シングル用ラック取付金具の取付方法.....	13
2.2	ダブル用ラック取付金具.....	14
2.2.1	ダブル用ラック取付金具の取付方法.....	15
3	製品概要.....	16
4	特長.....	17
5	各部の名称とはたらき.....	18
6	外部機器との接続.....	19
6.1	準備するもの.....	19
6.2	接続するときの注意事項.....	19
6.3	システム構成例.....	20
7	基本操作.....	21
7.1	本機の起動.....	21
7.2	電源の ON / OFF.....	21
7.3	本機の再起動.....	21
7.4	本機起動時の電源ボタンの状態.....	21
7.5	工場出荷時の設定に戻す.....	22
7.6	制御ステータス LED の点滅条件.....	22
7.7	制御コマンドの実行条件.....	23
7.8	ボタンのロック設定と解除.....	24
8	本機の使用方法.....	25
8.1	設定の参考例.....	25
8.1.1	LAN 接続の準備.....	25
8.1.2	本機の設定.....	26
8.2	SWC-2000 から外部機器を制御する.....	34
8.2.1	制御コマンドボタンから制御する.....	34
8.2.2	WEB ブラウザから制御する.....	34
9	WEB メニュー.....	35
9.1	WEB メニューの概要.....	35
9.2	MAIN メニュー.....	36
9.2.1	制御ステータス LED.....	37
9.2.2	電源ボタン.....	37
9.2.3	制御コマンドボタン.....	37
9.2.4	自動更新時間設定.....	38
9.2.5	WEB メニュー再読み込み.....	38
9.3	NAME EDIT メニュー.....	39
9.3.1	WEB メニューのリンク.....	40
9.3.2	ボタンの名前編集.....	40
9.3.3	WEB メニュー再読み込み.....	40
9.3.4	設定ボタン.....	40
9.4	DATA MONITOR メニュー.....	41
9.4.1	WEB メニューのリンク.....	42
9.4.2	データモニタ.....	42
9.4.3	表示方法の変更.....	42
9.4.4	自動更新の停止と開始.....	42

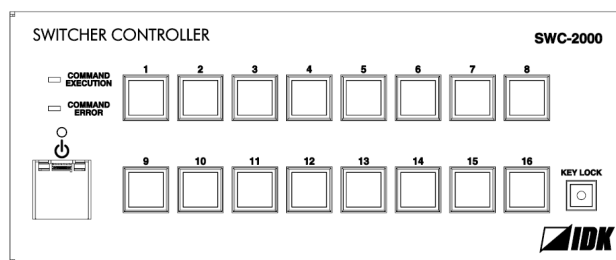
9.4.5	データモニタの初期化	43
9.5	COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの一覧).....	44
9.5.1	WEB メニューのリンク	45
9.5.2	制御コマンドの一覧.....	45
9.5.3	制御コマンドのコピーと削除	45
9.5.4	WEB メニュー再読み込み.....	46
9.6	COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの詳細設定).....	47
9.6.1	WEB メニューのリンク	48
9.6.2	制御コマンドの設定.....	48
9.6.3	返信コマンドの関連付け.....	52
9.6.4	制御コマンドの入力サポート	53
9.6.5	WEB メニュー再読み込み.....	60
9.6.6	戻るボタン	60
9.6.7	設定ボタン	60
9.7	REPLY COMMAND メニュー (返信コマンドの一覧).....	61
9.7.1	WEB メニューのリンク	62
9.7.2	返信コマンド一覧	62
9.7.3	返信コマンドのコピーと削除	62
9.7.4	WEB メニュー再読み込み.....	63
9.8	REPLY COMMAND メニュー (返信コマンドの詳細設定).....	64
9.8.1	WEB メニューのリンク	65
9.8.2	返信コマンドの設定.....	65
9.8.3	返信コマンドの入力サポート	68
9.8.4	WEB メニュー再読み込み.....	72
9.8.5	戻るボタン	72
9.8.6	設定ボタン	73
9.9	COMMAND LINK メニュー (ボタンの選択).....	74
9.9.1	WEB メニューのリンク	75
9.9.2	関連付け編集ボタン.....	75
9.9.3	関連付けのコピーと削除.....	75
9.9.4	制御コマンド実行時の操作無効時間.....	76
9.9.5	WEB メニュー再読み込み.....	76
9.10	COMMAND LINK メニュー (リンク付け).....	77
9.10.1	WEB メニューのリンク	78
9.10.2	制御コマンドの関連付け.....	78
9.10.3	WEB メニュー再読み込み.....	79
9.10.4	戻るボタン	79
9.10.5	設定ボタン	79
9.11	COMMAND EXECUTION メニュー.....	80
9.11.1	WEB メニューのリンク	81
9.11.2	制御コマンドの実行.....	81
9.11.3	制御ステータス LED	81
9.12	LED メニュー.....	82
9.12.1	WEB メニューのリンク	83
9.12.2	点滅パターン.....	83
9.12.3	点灯条件.....	83
9.12.4	WEB メニュー再読み込み.....	85
9.12.5	設定ボタン	85
9.12.6	グループ設定での起動時点灯	85
9.13	LAN / COM メニュー	86

9.13.1	WEB メニューのリンク	87
9.13.2	IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレス / MAC アドレス	87
9.13.3	LAN 通信の動作モード	88
9.13.4	RS-232C 通信の設定	89
9.13.5	WEB メニュー再読み込み	89
9.13.6	設定ボタン	89
9.14	BACKUP / RESTORE メニュー	90
9.14.1	WEB メニューのリンク	91
9.14.2	設定のバックアップ	91
9.14.3	バックアップ設定の適用	91
9.15	OTHERS メニュー	92
9.15.1	WEB メニューのリンク	93
9.15.2	電源ボタンの起動時設定	93
9.15.3	KEYLOCK ボタンの設定	93
9.15.4	制御コマンドボタンの自動ロック	94
9.15.5	ブザー音の設定	94
9.15.6	バージョン情報	94
9.15.7	WEB メニュー再読み込み	94
9.15.8	設定ボタン	94
10	製品仕様	95
11	正常に動作しないときは	96

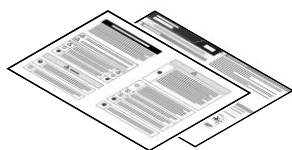
1 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

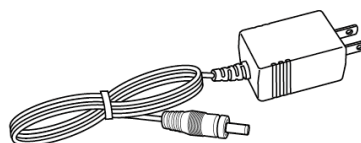
万一、同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。



SWC-2000 本体 × 1



安全上のご注意 × 1
設置ガイド × 1



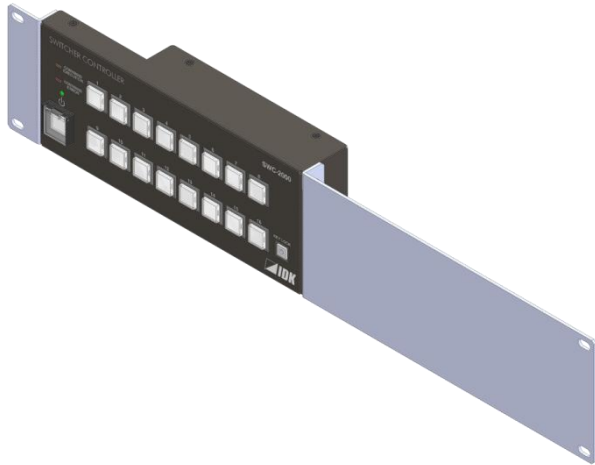
専用 AC アダプタ (1.5 m) × 1

[図 1.1] 同梱物の一覧

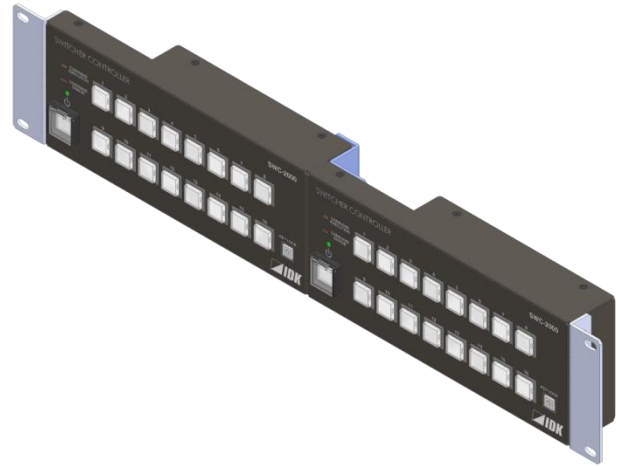
2 ラック取付金具

SWC-2000 専用のラック取付金具をオプションとして用意しています。

ラック取付金具を使用することで、EIA ラックへ SWC-2000 を 1 台、もしくは 2 台連結し、取付けることができます。



[図 2.1] RM-SWC2001



[図 2.2] RM-SWC2002

[表 2.1] ラック取付金具の種類と型番表

ラック取付金具の種類	SWC-2000 取付台数
RM-SWC2001	1 台
RM-SWC2002	2 台

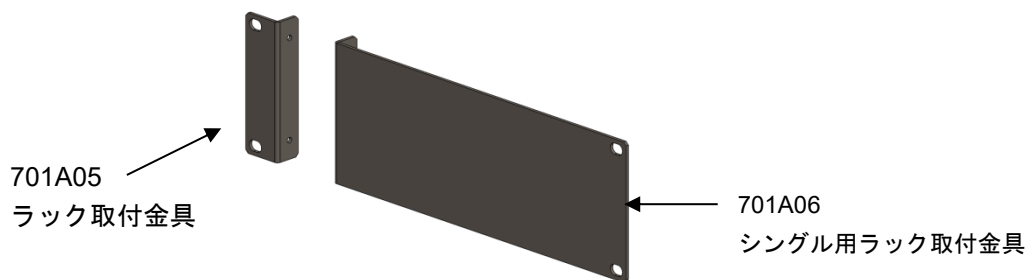
※ 図の灰色に表示されている箇所が、ラック取付金具です。実物の色は黒色となります。

2.1 シングル用ラック取付金具

シングル用ラック取付金具の同梱物は以下のとおりです。
同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

[表 2.2] RM-SWC2001 取付金具

型番	付属品
RM-SWC2001	<ul style="list-style-type: none"> ・ 701A05 ラック取付金具 1 個 ・ 701A06 シングル取付金具 1 個 ・ バインドネジ : M3x6、鉄、ニッケル 4 個

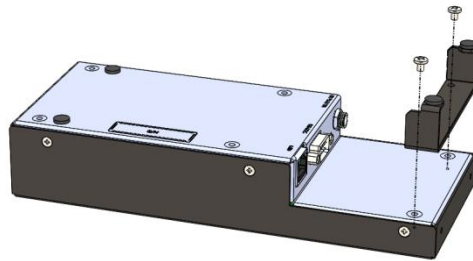


[図 2.3] RM-SWC2001

2.1.1 シングル用ラック取付金具の取付方法

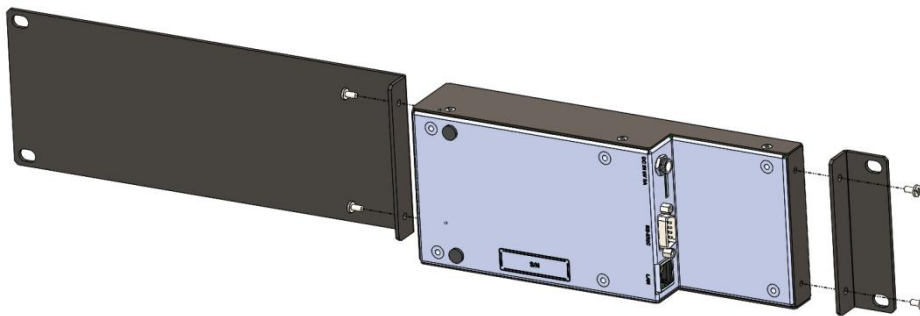
取付方法は以下のとおりです。

- ① SWC-2000 の裏面からスタンド金具を取り外します。



[図 2.4] スタンド金具取り外し

- ② バインドねじを使って、SWC-2000 の側面に 701A05 ラック取付金具と 701A06 シングル取付金具を取り付けます。
バインドねじの締め付けトルクは、0.59 N・m (約 6.1 kgf・cm) です。



[図 2.5] シングル用ラック取付金具の取付方法

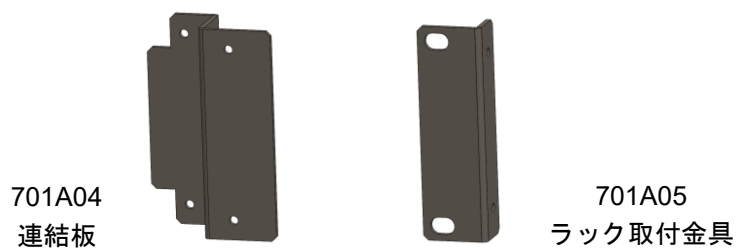
701A05 ラック取付金具と 701A06 シングル取付金具のねじ止め部は対象形状のため、左右を入れ換えた取り付け方もできます。

2.2 ダブル用ラック取付金具

ダブル用ラック取付金具の同梱物は以下のとおりです。
同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

[表 2.3] ダブル用ラック取付金具

型番	付属品
RM-SWC2002	<ul style="list-style-type: none"> ・ 701A04 連結板 1 個 ・ 701A05 ラック取付金具 2 個 ・ バインドねじ : M3x6、鉄、ニッケル 8 個

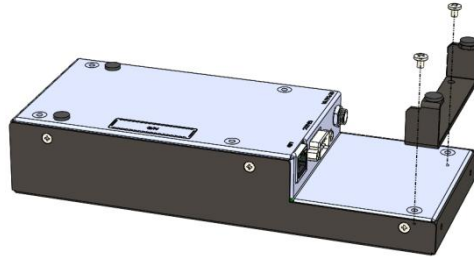


[図 2.6] ダブル用ラック取付金具

2.2.1 ダブル用ラック取付金具の取付方法

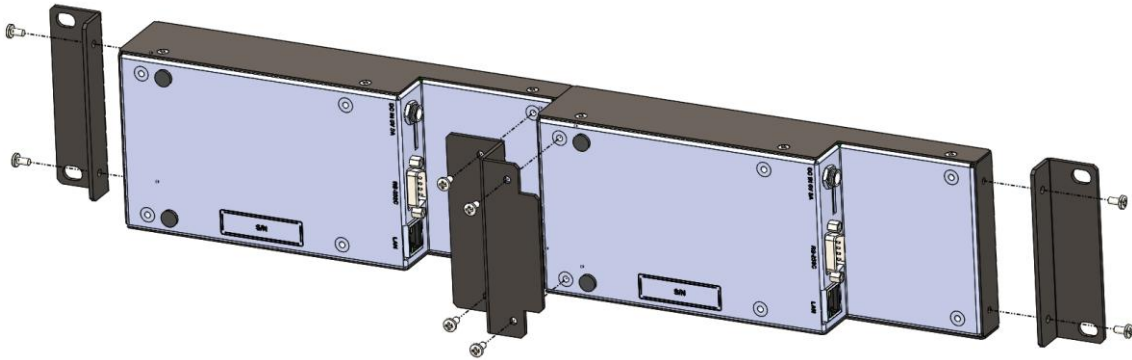
取付方法は以下ようになります。

- ① SWC-2000 の裏面からスタンド金具を取り外します。



[図 2.7] スタンド金具取り外し

- ② バインドねじを使って、SWC-2000 の裏面に 701A04 連結板を取り付け、2 台の SWC-2000 を連結します。また、SWC-2000 の側面に 701A05 ラック取付金具を取り付けます。バインドねじの締め付けトルクは、 $0.59 \text{ N}\cdot\text{m}$ (約 $6.1 \text{ kgf}\cdot\text{cm}$) です。



[図 2.8] ダブル用ラック取付金具の取付方法

3 製品概要

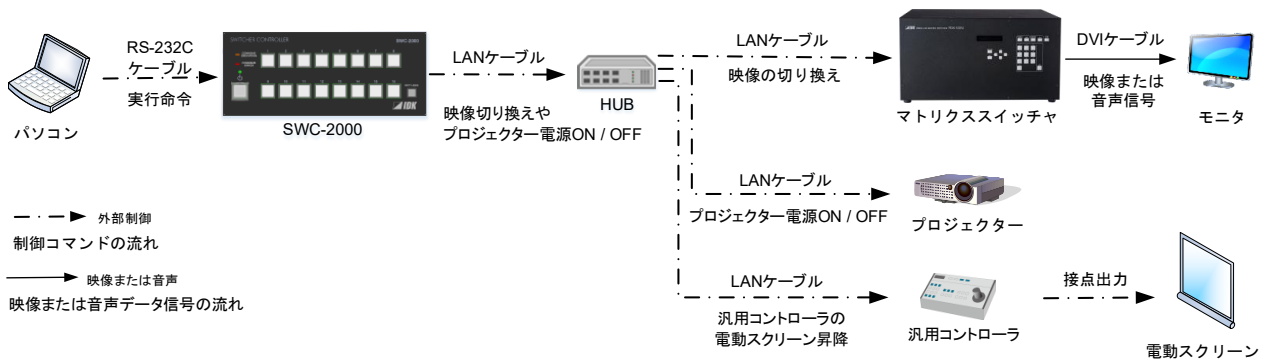
SWC-2000 (以下、「本機」とする) は、マトリクススイッチャ、マルチスイッチャおよびプロジェクターを制御するスイッチャリモートコントローラです。

本機を使用することにより、プロジェクターの電源 ON / OFF やマトリクススイッチャの映像切り換えなどを遠隔操作することが可能となります。

また、WEB ブラウザからパソコンの設定と遠隔操作ができます。



[図 3.1] WEB ブラウザによる遠隔操作



[図 3.2] システム構成例

【参考】

本機の WEB ブラウザ画面には、JavaScript 機能を使用しています。

WEB ブラウザから本機を設定する場合は、WEB ブラウザの JavaScript を必ず有効に設定してください。

JavaScript の有効に設定するは各 WEB ブラウザの取扱説明書を確認ください。

4 特長

以下は、本機の特長です。

- 制御システムを一括管理
本機を使用することにより、プロジェクターの電源 ON / OFF やマトリクススイッチャの映像切り換えなど、制御システムを一括管理することが可能
- WEB ブラウザの機能による本機の遠隔操作が可能
本機の電源 ON / OFF の切り換えや制御コマンドの実行が遠隔操作可能
- 制御出力
 - ・ RS-232C、LAN による外部機器の制御が可能
 - ・ 制御コマンド出力機能
(マトリクススイッチャ、マルチスイッチャおよびプロジェクター制御などに対応)
 - ・ PJLink 対応
- その他
 - ・ 電源ボタンによる電源 OFF 機能
 - ・ 誤操作防止のボタンのロック機能
 - ・ 全設定のバックアップ、リストア機能
 - ・ 据え置きやラックへのマウント設置対応

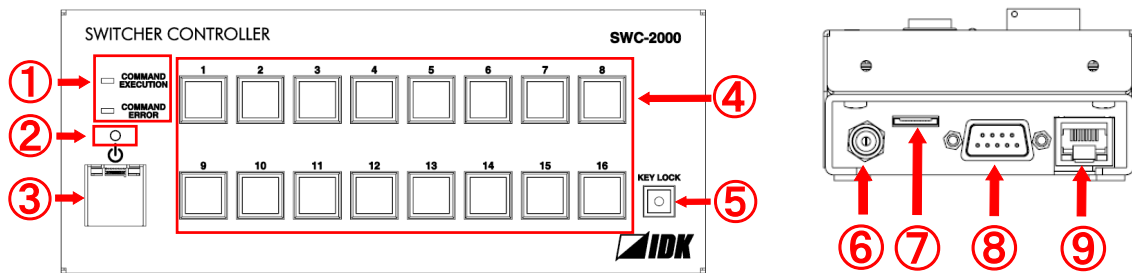
【参照 : 2 ラック取付金具 (P.11)】

【参照 : 7.2 電源の ON / OFF (P.21)】

【参照 : 7.8 ボタンのロック設定と解除 (P.24)】

【参照 : 9.14 BACKUP / RESTORE メニュー (P.90)】

5 各部の名称とはたらき



[図 5.1] 外観図

[表 5.1] 各名称の説明

番号	名称	説明
①	制御ステータス LED	LED で本機の制御の状態を確認できます。制御コマンドの実行中は COMMAND EXECUTION の LED が橙色に点滅し、制御コマンドのエラーが発生したときは COMMAND ERROR が橙色に点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ COMMAND EXECUTION 点滅：コマンド実行中、橙色に点滅します。 消灯：実行中のコマンドなし ・ COMMAND ERROR 点滅：コマンドの送信または受信にエラーあり。 消灯：エラーなし 【参照：7.6 制御ステータス LED の点滅条件 (P.22)】
②	動作ステータス LED	LED の色で電源 ON または OFF の状態を確認できます。電源 ON のときは、緑色に点灯し、電源 OFF のときは橙色に点灯します。 電源 ON：緑色に点灯します。 電源 OFF：橙色に点灯します。
③	電源ボタン	本機の電源を ON または OFF に切り換えます。 電源 ON：電源ボタンが緑色に点灯します。 電源 OFF：電源ボタンが消灯します。 【参照：7.2 電源の ON / OFF (P.21)】
④	制御コマンドボタン (1 ~ 16)	1 ~ 16 の各制御コマンドボタンに関連付けた制御コマンドを実行します。 【参照：9.10 COMMAND LINK メニュー (リンク付け) (P.77)】
⑤	KEYLOCK ボタン	電源ボタンと制御コマンドボタンのロック / 解除が設定可能です。また、KEYLOCK のボタンの LED が緑色に点灯しているときは、ボタンのロック機能が有効になっています。 点灯：ロック中 消灯：ロック解除 【参照：7.8 ボタンのロック設定と解除 (P.24)】
⑥	電源コネクタ	付属のネジ式ロック付き AC アダプタを接続します。
⑦	保守用コネクタ	未使用。 このコネクタには何も接続しないでください。
⑧	RS-232C コネクタ	制御コマンドによる外部機器の制御を行うときに使用します。
⑨	LAN コネクタ	制御コマンドまたは WEB ブラウザによる外部機器の制御を行うときに使用します。

6 外部機器との接続

6.1 準備するもの

制御用のパソコンなどの外部機器と接続する前に、いずれかのケーブルを準備してください。

- ・ LAN ケーブル
- ・ RS-232C ケーブル

6.2 接続するときの注意事項

外部機器と接続する前に、以下の事項をお守りください。

■ 設置について

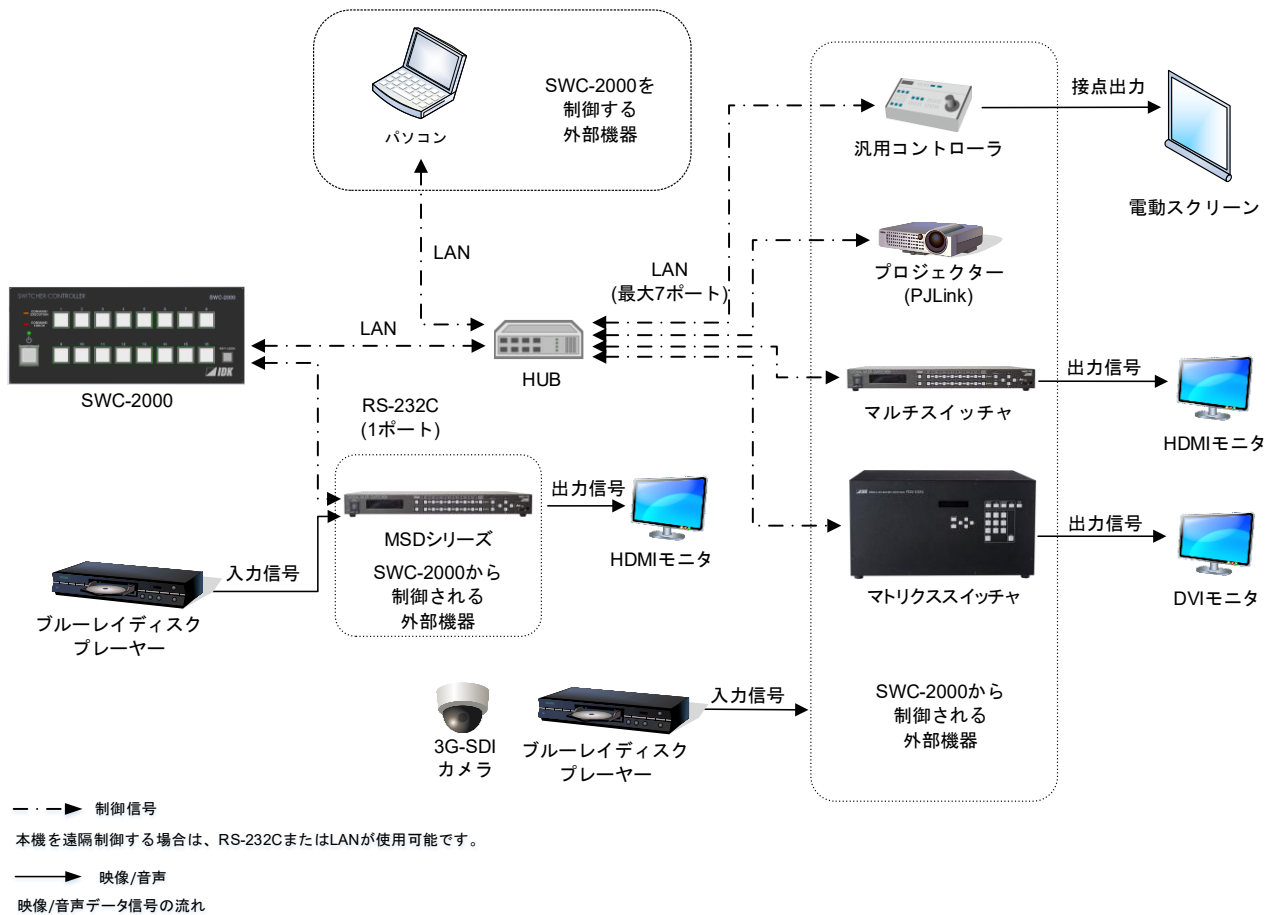
- ・ ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に接地された周辺の金属に触れて、身体の帯電を除去した状態で作業をしてください。
- ・ 本機を積み重ねて使用しないでください。
- ・ 本機周辺温度が 40°C 以下になるように十分な換気設備を入れてください。
換気が不十分な場合、部品の寿命や、本機の動作などに影響を及ぼすおそれがあります。

■ ネジ式ロック付き AC アダプタの取り扱いについて

付属の AC アダプタを電源コネクタへ接続し、DC プラグのねじを回して留めてください。

6.3 システム構成例

次の図は、本機と外部機器の接続例です。



[図 6.1] 本機と外部機器の接続例

7 基本操作

7.1 本機の起動

AC アダプタより電力が供給されると、ハードウェアの初期設定を行い、約 2 秒後に本機の操作が可能になります。

7.2 電源の ON / OFF

電源ボタンを押すことにより、電源を ON または OFF に切り換えることが可能です。

[表 7.1] 各モード時の使用可能範囲

電源の状態	使用可能の機能	使用不可の機能
ON	すべての機能	なし
OFF	電源ボタン、電源 OFF 時の制御コマンド実行、遠隔操作 (WEB ブラウザ、制御コマンド)	制御コマンドボタン 1～制御コマンドボタン 16、KEYLOCK ボタン

【参照：9.10.2 制御コマンドの関連付け (P.78)】

7.3 本機の再起動

本機のみ起動し直したいときに再起動することが可能です。

また、再起動時には電源 ON または OFF 動作に割り当てている制御コマンドは実行されません。

【再起動方法】

1. KEYLOCK ボタンを押し、制御コマンドボタンロック状態にします。
2. 「電源ボタン」、「制御コマンドボタン 8」および「制御コマンドボタン 9」を 3 秒間同時に長押しします。
3. 長押し後、長音ブザーが鳴り、本機が再起動します。
4. 再起動後、本機の操作が可能になります。

【参照：7.8 ボタンのロック設定と解除 (P.24)】

7.4 本機起動時の電源ボタンの状態

AC アダプタから電力が供給された時に電源ボタンの状態を ON の状態または OFF の状態など固定にして起動することが可能です。設定方法は WEB ブラウザからの設定となります。

詳しくは、電源ボタンの起動時設定をご確認ください。

【参照：9.15.2 電源ボタンの起動時設定 (P.93)】

7.5 工場出荷時の設定に戻す

本機を工場出荷時の設定*に戻すことができます。
工場出荷時の設定に変更後、操作が可能となります。

【工場出荷時の設定に戻す方法】

1. 「制御コマンドボタン 6」、「制御コマンドボタン 13」および「KEYLOCK ボタン」を同時に押し続けます。
2. ボタンを押し続けながら、ネジ式ロック付き AC アダプタからの電力の供給を行います。
3. ネジ式ロック付き AC アダプタからの電力の供給後、3 秒以上長押しを行うと長音ブザーが鳴り、本機が再起動します。
4. 再起動後、工場出荷時の設定で動作を開始します。

【注意】

工場出荷時の設定に戻した場合は、制御コマンドなども削除されるため、再設定してください。

7.6 制御ステータス LED の点滅条件

制御ステータス LED の色により、現在の制御の状態が確認できます。

COMMAND EXECUTION は、本機が外部機器の制御コマンドを実行している最中に橙色に点滅します。

COMMAND ERROR は、本機と制御される機器の間でタイムアウトが発生した場合や IDK 製品または PJLink 製品のエラーが返信されたときに橙色に点滅します。

REPLY COMMAND LINK 設定や REPLY DISPLAY 設定の詳細は各ページをご確認ください。

COMMAND EXECUTION

LED の状態 点滅：実行中
消灯：未実行

COMMAND ERROR

LED の状態 点滅：エラー発生
消灯：通常状態

【表 7.2】 制御ステータス LED の点灯条件

REPLY COMMAND LINK 設定の有無	REPLY DISPLAY 設定の有無	COMMAND ERROR 点滅条件
無効	無効	IDK 製品、PJLink 製品のエラー時のみ
無効	有効	IDK 製品、PJLink 製品のエラー時とタイムオーバー
有効	無効	タイムオーバーのみ

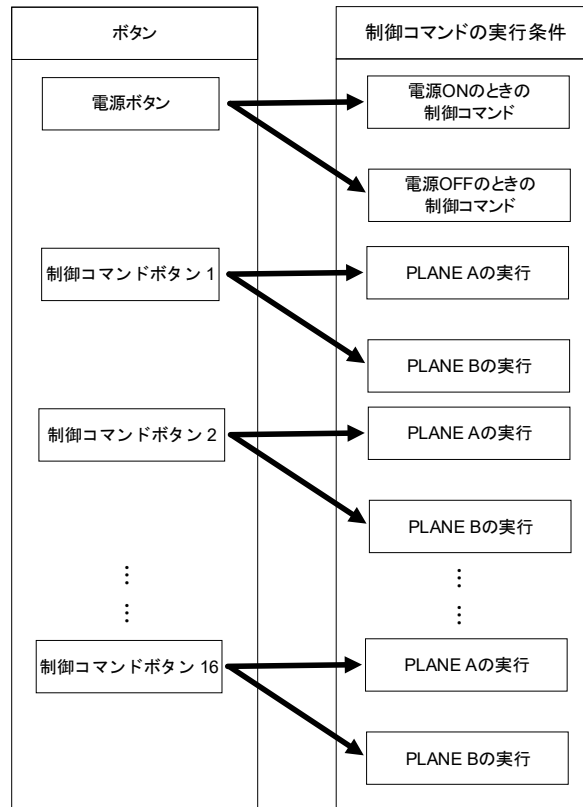
【参照：9.6.2 制御コマンドの設定 (P.48)】

【参照：9.6.3 返信コマンドの関連付け (P.52)】

7.7 制御コマンドの実行条件

本機の制御コマンドの実行条件は、制御コマンドボタンと電源ボタンの ON / OFF 時に任意の制御コマンドを実行することが可能です。

制御コマンドボタンは、通常は PLANE A の制御コマンドのみ実行しますが、トグル動作を有効にすることで PLANE A→PLANE B→PLANE A のように交互に制御コマンドを実行することができます。



※ 各制御コマンドボタン1～16は、PLANE AとPLANE Bの制御コマンドの実行条件があります。

[図 7.1] 制御コマンドの実行条件

制御コマンドの設定については、制御コマンドによる設定または WEB メニューからの設定を行ってください。制御コマンドによる設定は、本機の制御コマンドガイドを参照してください。

【参照： コマンドガイド】

【参照： 9.10 COMMAND LINK メニュー (リンク付け)(P.77)】

7.8 ボタンのロック設定と解除

ボタンのロックを設定することにより、誤操作を防止します。

ボタンのロックは制御コマンドボタンロックとボタンロックがあります。

ボタンにロックがかかっているときは、KEYLOCK ボタンの LED が点灯します。

[表 7.3] 使用可能範囲

設定	使用可能	使用不可
制御コマンドボタンロック	電源ボタン、遠隔操作 (WEB ブラウザ、制御コマンド)	制御コマンドボタン 1 ~ 制御コマ ンドボタン 16
ボタンロック	遠隔操作 (WEB ブラウザ、制御コマンド)	すべてのボタン※

※ ボタンロックを解除するための KEYLOCK ボタンの長押しのみ可能です。

[参照 : 9.15.4 制御コマンドボタンの自動ロック (P.94)]

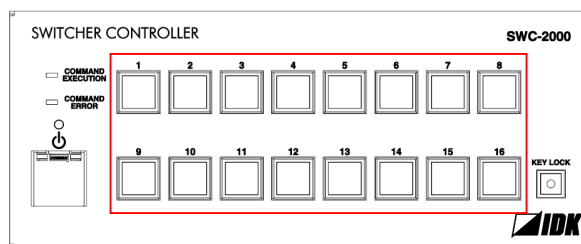
【制御コマンドボタンロック】

ロック方法 :

KEYLOCK ボタンを押す。

解除方法 :

制御コマンドボタンロックが掛かっている状態で、KEYLOCK ボタンを押す。



[図 7.2] 制御コマンドボタンロック範囲

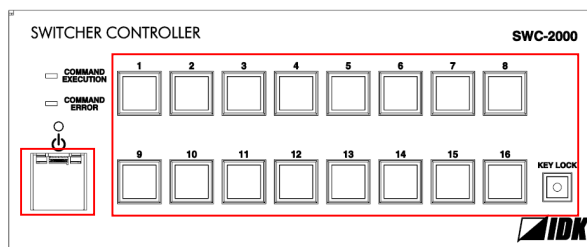
【ボタンロック】

ロック方法 :

KEYLOCK ボタンを約 2 秒長押しする。

解除方法 :

ボタンロックが掛かっている状態で、KEYLOCK ボタンを約 2 秒長押しする。



[図 7.3] ボタンロック範囲

8 本機の使用法

本機を使用するには、パソコンを使用し設定を行う必要があります。

各操作の詳細は WEB メニューをご確認ください。

これらの操作は、WEB ブラウザではなく制御コマンドを使って行うこともできます。

WEB ブラウザからの設定は、各 WEB メニューまたは設定の参考例を参照してください。

【注意】

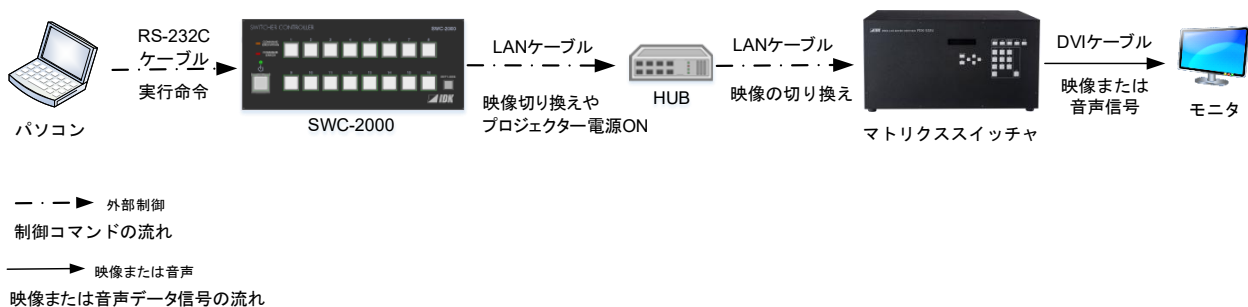
本機は、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) による IP アドレスの自動取得に対応していません。DHCP を使用したネットワーク内で本機を使用する場合は、固定の IP アドレスを用意してください。また、本機から LAN 接続された外部機器を制御する場合も、固定の IP アドレスのみ対応しているため、複数の固定の IP アドレスを用意してください。

【参照：コマンドガイド】

【参照：9 WEB メニュー (P.35)】

8.1 設定の参考例

購入時に WEB ブラウザから本機の設定を行い、本機の制御コマンドボタン 1 を押したときに、マトリクススイッチャの IN1 から入力された映像と音声を全出力チャンネルから出力するチャンネルの切り換え[※]の遠隔操作を行う場合の参考例です。



【図 8.1】システム構成

【表 8.1】マトリクススイッチャの設定

IP アドレス	ポート番号
192.168.1.100	1100

8.1.1 LAN 接続の準備

本機の設定を行うため、LAN 接続の準備を行います。

LAN 接続の準備が完了した後に、**8.1.2 本機の設定 (P.26)** を行います。

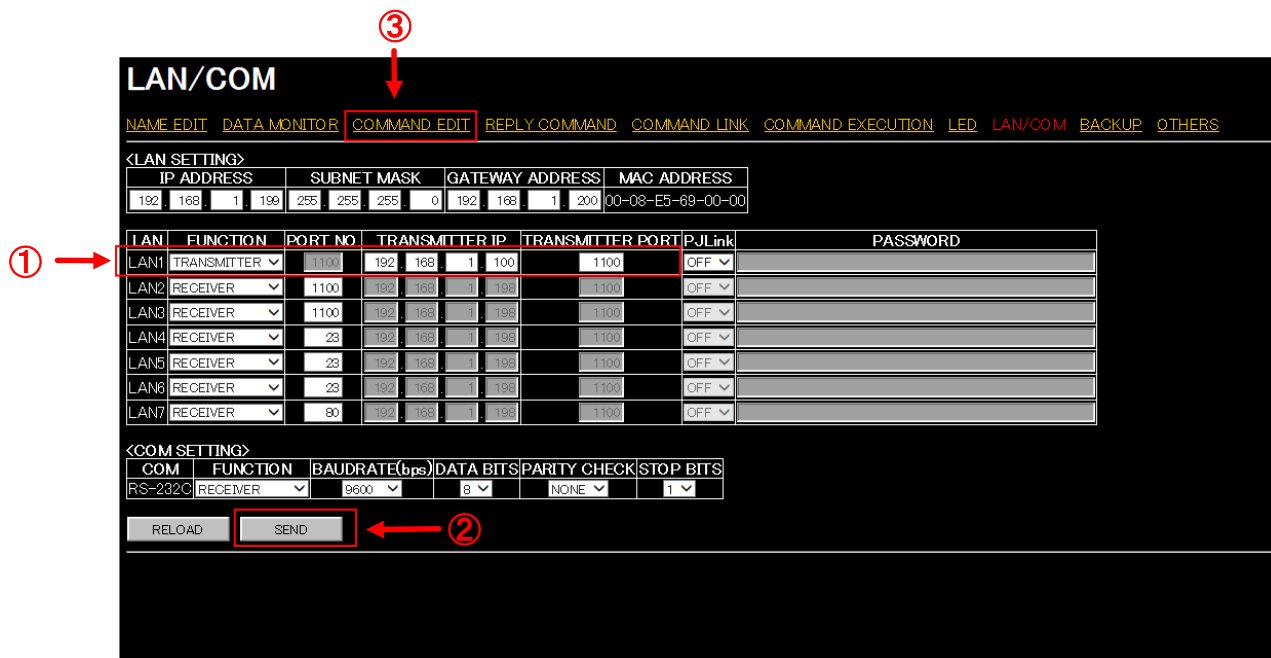
【接続準備】

1. パソコンと本機を LAN ケーブルで接続します。
2. パソコンの固定の IP アドレス (192.168.1.10 など) を設定します。
3. 本機と接続可能な状態に設定します。(本機の IP アドレスの初期値：192.168.1.199)

8.1.2 本機の設定

Microsoft Internet Explorer などの WEB ブラウザを起動します。

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)/lancom.html」を入力し、LAN 通信が成立すると通信の設定画面が表示されます。



[図 8.2] 通信の設定画面

①の赤枠内の LAN1 の設定をマトリクススイッチャに合わせ以下のように設定します。

[表 8.2] LAN1 設定例

設定項目	設定値	内容
FUNCTION	TRANSMITTER	送信モード
TRANSMITTER IP	192.168.1.100	マトリクススイッチャの IP アドレス
TRANSMITTER PORT	1100	マトリクススイッチャのポート番号

LAN1 設定例を入力後、設定内容の変更を行うため、②の「SEND」ボタンをクリックします。

設定内容の変更した場合に WEB ブラウザとの接続が切れる場合があります。

その場合は、再度アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)/lancom.html」を入力し、設定内容が反映されていることを確認してください。

設定内容が、反映されていることを確認した後に、③の「COMMAND EDIT」のリンクをクリックします。

【参照 : 9.13 LAN / COM (P.86)】

③の「COMMAND EDIT」のリンクをクリック後、下の制御コマンド一覧の WEB メニューが表示されます。

COMMAND EDIT

NAME EDIT DATA MONITOR COMMAND EDIT REPLY COMMAND COMMAND LINK COMMAND EXECUTION LED LAN/COM BACKUP OTHERS

<EXTERNAL CONTROL COMMAND LIST>

CMD	MEMO	CMD	MEMO	CMD	MEMO	CMD	MEMO
CMD1		CMD2		CMD3		CMD4	
CMD5		CMD6		CMD7		CMD8	
CMD9		CMD10		CMD11		CMD12	
CMD13		CMD14		CMD15		CMD16	
CMD17		CMD18		CMD19		CMD20	
CMD21		CMD22		CMD23		CMD24	
CMD25		CMD26		CMD27		CMD28	
CMD29		CMD30		CMD31		CMD32	

<COMMAND COPY/DELETE>

COPY: [CMD1] TO [CMD1] [COPY]

DELETE: [CMD1] [DELETE]

[RELOAD]

[図 8.3] 制御コマンド一覧

次に、制御コマンドの登録をします。

制御コマンド 1 の編集を行うため、④の「CMD1」ボタンをクリックします。

④の「CMD1」ボタンをクリックしたときに制御コマンドの詳細設定の WEB メニューが表示されます。

【参照：9.5 COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの一覧) (P.44)】

【参照：9.6 COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの詳細設定) (P.44)】

④の「CMD1」ボタンをクリックしたときに、下のWEBメニューが表示されます。



[図 8.4] 制御コマンド詳細設定

表示された後に、⑤の赤枠内を以下の設定にします。

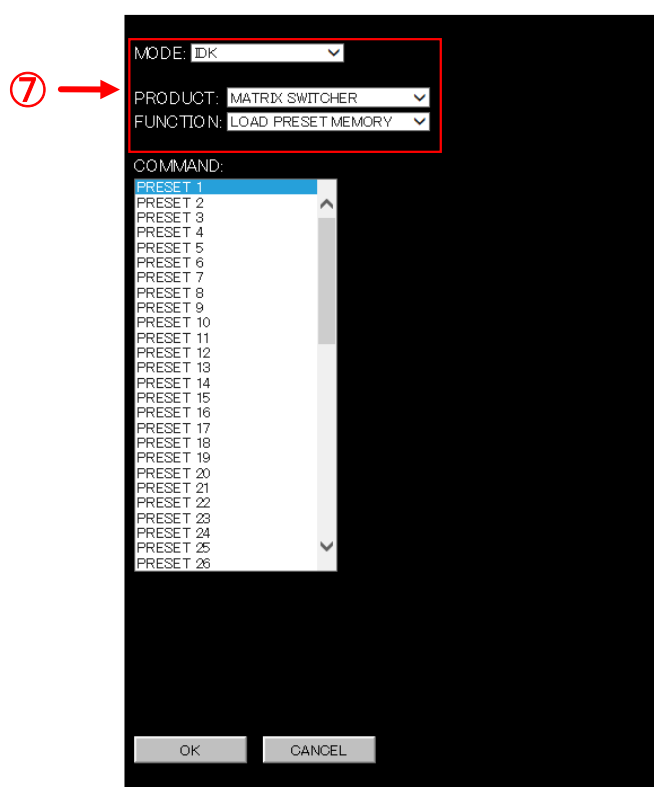
[表 8.3] 制御コマンドの設定値

設定項目	設定値	内容
MEMO	CH1	任意の半角英数字 (最大 14 文字まで入力可能)
<PORT>	LAN1 のチェックボックスに チェックを入れる	LAN1 の設定を使用し、制御コマンド を送信する。

設定後、⑥の「TEMPLATE」ボタンをクリックします。

【参照：9.5 COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの一覧) (P.44)】

⑥の「TEMPLATE」ボタンをクリック後に下のテンプレートが表示されます。



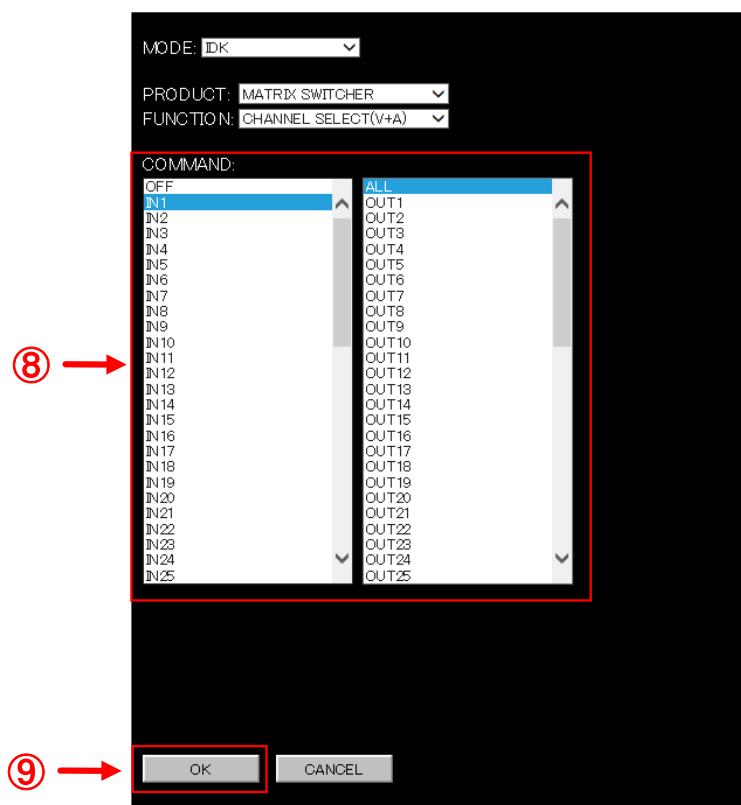
[図 8.5] テンプレート

マトリクススイッチャの映像と音声の切り換えを行うため、⑦のテンプレートの設定を以下のようにします。

[表 8.4] テンプレート設定値

設定項目	設定値	内容
MODE	IDK	IDK の製品に使用している 制御コマンド表示モード
PRODUCT	MATRIX SWITCHER	マトリクススイッチャモード： マトリクススイッチャの制御コマンド 一覧を選択できるようになります。
FUNCTION	CHANNEL SELECT (V+A)	マトリクススイッチャの映像と音声の 切り換えの制御コマンド設定モードと なります。

⑦のテンプレート設定を行なった後、下の映像と音声の切り換え設定画面が表示されます。⑧の COMMAND リストの左側が入力チャンネル番号、右側が出力チャンネル番号です。



[図 8.6] 映像と音声の切り換え設定

マトリクススイッチャの IN1 の入力チャンネルから入力された映像と音声をすべての出力チャンネルから出力する映像と音声の切り換え制御コマンドを登録します。⑧の COMMAND リストの入力チャンネル番号「IN1」と出力チャンネル番号「ALL」をクリックした後、⑨の「OK」ボタンをクリックします。

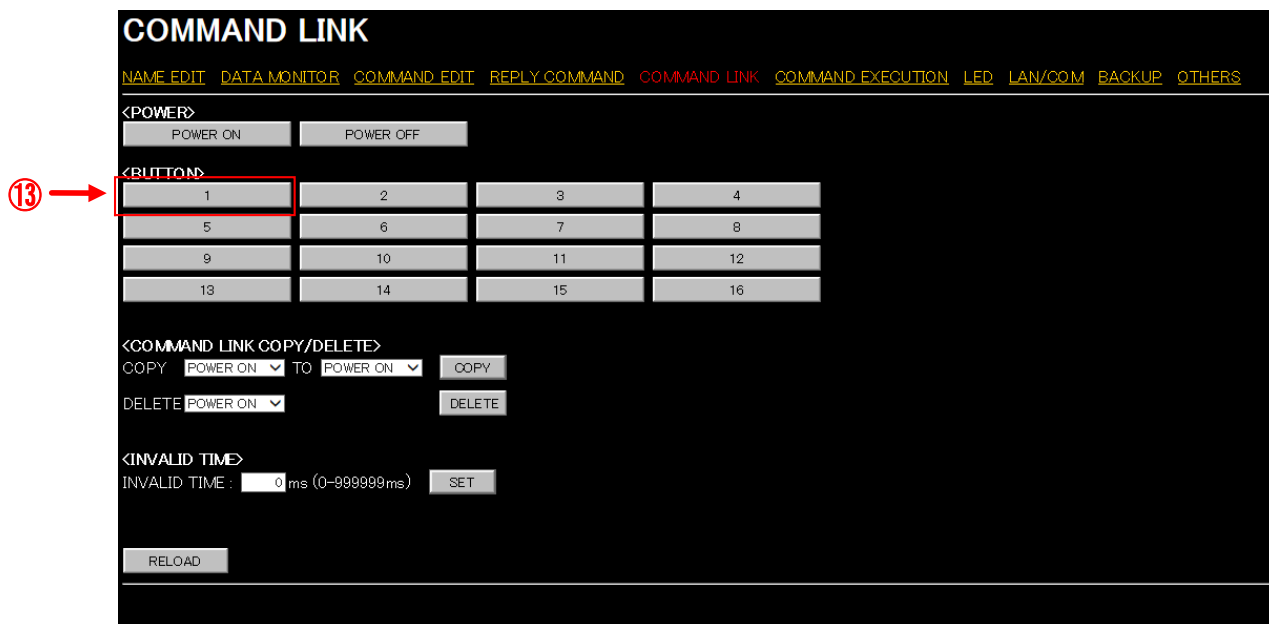
⑨の「OK」ボタンをクリックした後、テンプレートのウィンドウが消え、制御コマンド詳細設定の DATA に、テンプレートで選択された制御コマンドが入力されます。



[図 8.7] 制御コマンド設定後

入力されていることを確認した後、⑪の「SEND」ボタンを押し、本機に設定をします。次に制御コマンドの関連付けをします。⑫の「COMMAND LINK」のリンクを押します。

⑫の「COMMAND LINK」のリンクを押した後、下の制御コマンドの関連付けの WEB メニューが表示されます。

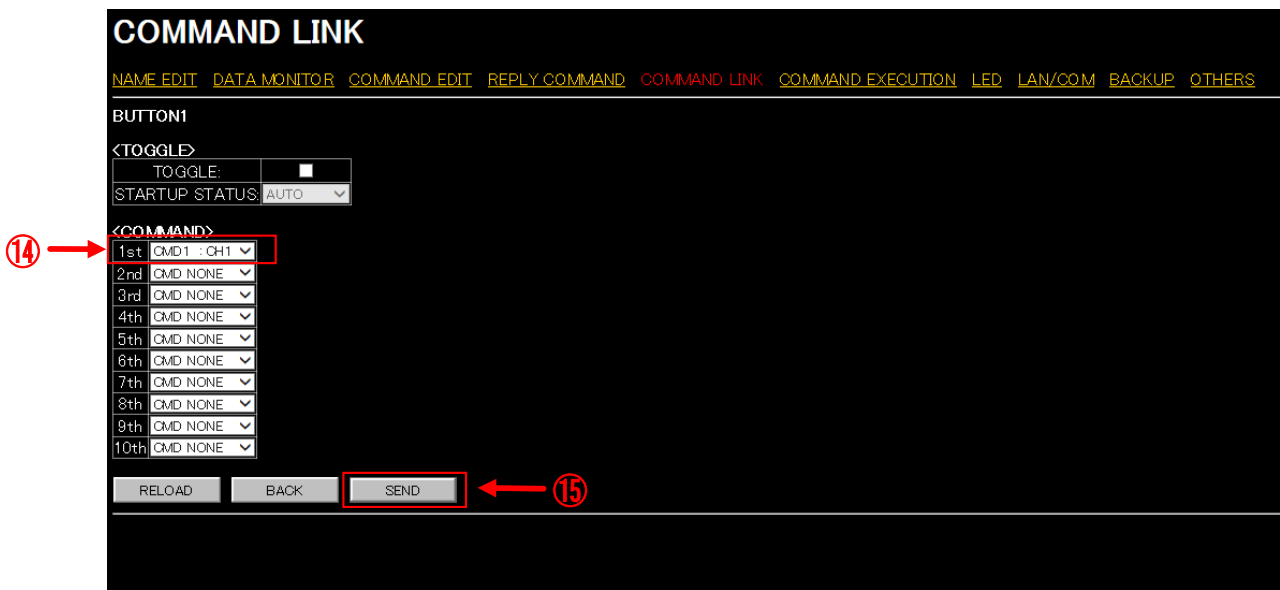


[図 8.8] 制御コマンドの関連付け

制御コマンドの関連付けが表示された後に、関連付けさせたい制御条件のボタンを選択します。今回は制御コマンドボタン 1 に対して制御コマンドの関連付けを行うため、⑬の「1」ボタンを押します。⑬の「1」ボタンをクリック後、制御コマンドの関連付け (詳細設定) が表示されます。

【参照： 9.9 COMMAND LINK メニュー (ボタンの選択) (P.74)】

⑬の「1」ボタンをクリック後、下の制御コマンドの関連付けが表示されます。



[図 8.9] 制御コマンドの関連付け (詳細設定)

制御コマンドの関連付け (詳細設定) の表示後、⑭の 1st の設定を登録した制御コマンド「CMD1 : CH1」を選択します。

選択後、⑮の「SEND」ボタンを押し、本機に制御コマンドの関連付けの設定をします。
本機への制御コマンドの設定は完了です。

【参照： 9.10 COMMAND LINK メニュー (リンク付け) (P.77)】

8.2 SWC-2000 から外部機器を制御する

本機に登録した制御コマンドを使用し、外部機器を制御する場合は、以下の3種類の方法があります。

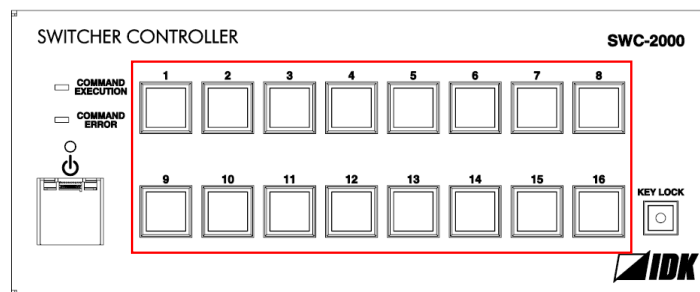
【外部機器の制御方法】

1. 制御コマンドボタンから制御する。
2. WEB ブラウザから制御する。
3. 制御コマンドから制御する。

※ 制御コマンドから制御する場合は、本機のコマンドガイドを参照してください。

8.2.1 制御コマンドボタンから制御する

制御コマンドを関連付けた制御コマンドボタンを押すと、外部機器に制御コマンドが送信されます。

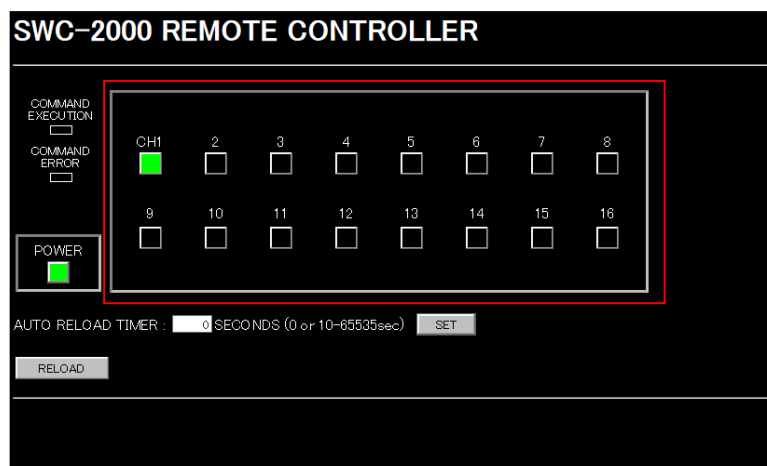


【図 8.10】 制御コマンドボタンから制御する

8.2.2 WEB ブラウザから制御する

Microsoft Internet Explorer などの WEB ブラウザを起動します。

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)」を入力します。LAN 通信が成立すると、WEB ブラウザに MAIN メニューが表示されます。WEB メニューの制御コマンドボタンを押すと、外部機器に制御コマンドが送信されます。



【図 8.11】 WEB ブラウザから制御する

【参照：9.2 MAIN メニュー (P.36)】

9 WEB メニュー

9.1 WEB メニューの概要

WEB メニューは、使用者が誤って設定を変更しないよう運用時のメニューと設定時のメニューが分かれています。そのためメニューの操作方法に違いがありますのでご注意ください。
また、本機の設定後は運用時のメニューのみで本機の遠隔操作が可能です。

【操作方法】

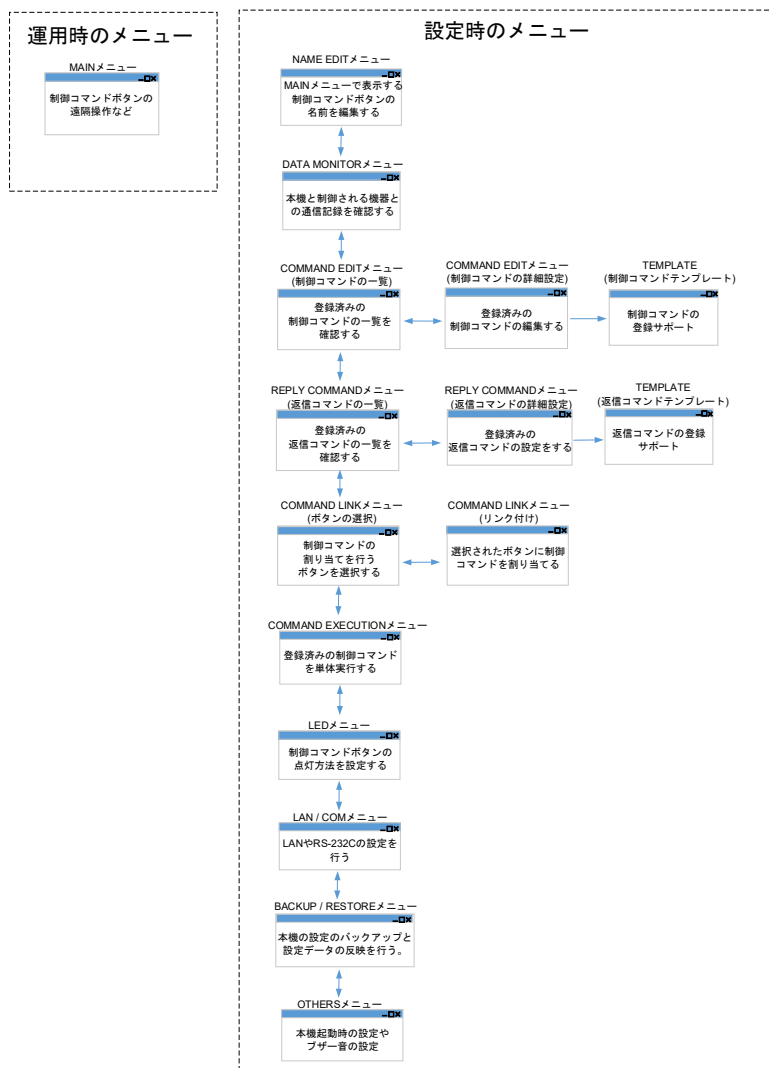
運用時のメニュー

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)」で操作可能です。

設定時のメニュー

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)/*****.html」で設定可能です。

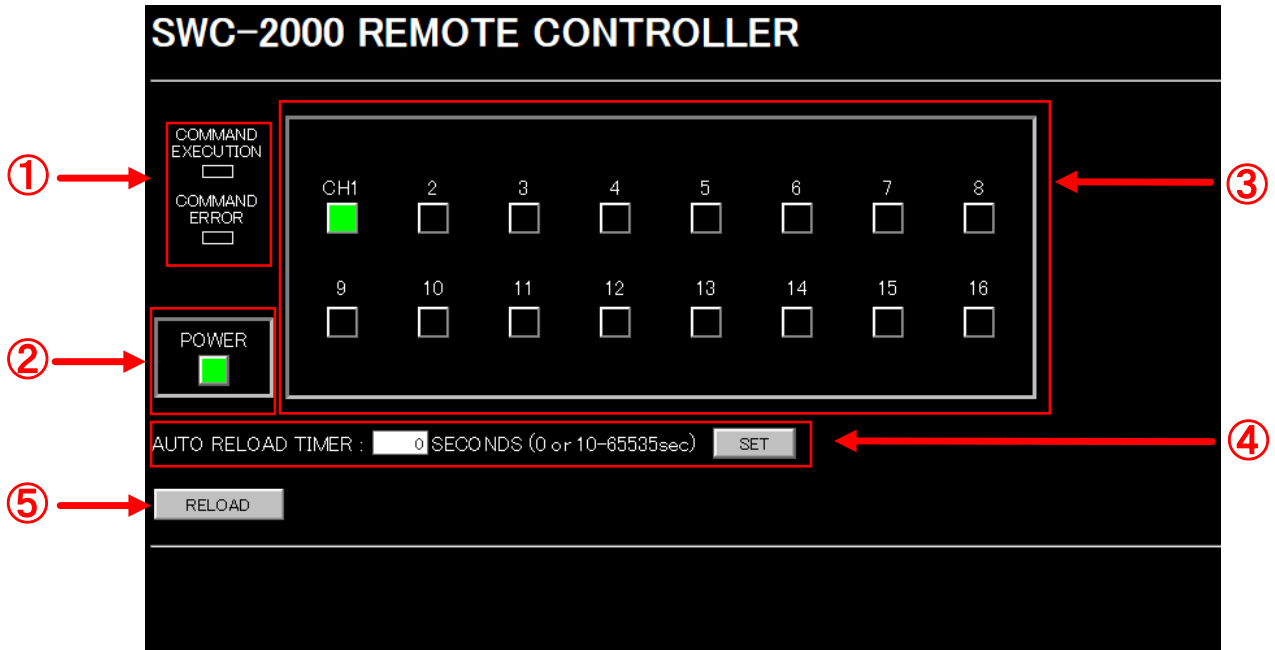
※ *****の部分には各 WEB メニューにより異なります。各 WEB メニューのページを参照ください。



【図 9.1】WEB メニュー

9.2 MAIN メニュー

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)」と入力すると、MAIN メニューが表示されます。MAIN メニューは、電源ボタンと制御コマンドボタンを操作するためのメニューです。WEB ブラウザから電源 ON / OFF や制御コマンドの実行が可能です。



[図 9.2] MAIN メニュー

①	制御ステータス LED	【9.2.1】	37 ページ
②	電源ボタン	【9.2.2】	37 ページ
③	制御コマンドボタン	【9.2.3】	37 ページ
④	自動更新時間設定	【9.2.4】	38 ページ
⑤	WEB メニュー再読み込み	【9.2.5】	38 ページ

9.2.1 制御ステータス LED

WEB ブラウザに表示されている LED の色により、現在の制御の状態が確認できます。
 COMMAND EXECUTION は、本機が外部機器の制御コマンドを実行している最中に橙色に点灯します。
 COMMAND ERROR は、本機と制御される機器の間でタイムアウトが発生した場合や IDK 製品または PJLink 製品のエラーが返信されたときに橙色に点灯します。

設定条件 なし
色の状態 COMMAND EXECUTION
 黒色：未実行
 橙色：実行中

COMMAND ERROR
 黒色：通常状態
 橙色：エラー発生

【参照：7.6 制御ステータス LED の点滅条件 (P.22)】

9.2.2 電源ボタン

本機の電源ボタンを遠隔操作するボタンです。
 ボタンの色により、現在の動作モードの状態が確認できます。

設定条件 なし
ボタンの状態 緑色：動作モード
 黒色：スタンバイモード

9.2.3 制御コマンドボタン

本機の制御コマンドボタンを遠隔操作するボタンです。ボタンの色により、現在の動作モードの状態が確認できます。また、制御コマンドボタンの上に表示されている数字は NAME EDIT メニューから変更することができます。

設定条件 なし
ボタンの状態 緑色：実行可能な制御コマンドが関連付けられている。
 橙色：実行可能な制御コマンドが関連付けられている (実行面: PLANE B)。*
 黒色：実行可能な制御コマンドが関連付けられていない。

※ 制御コマンドボタンの「TOGGLE」にチェックが入っている場合のみ。

【参照：9.3 NAME EDIT メニュー (P.78)】

【参照：9.10.2 制御コマンドの関連付け (P.78)】

9.2.4 自動更新時間設定

任意の時間に自動で WEB メニューを更新し、WEB ブラウザに表示します。

設定条件 なし

選択範囲 AUTO RELOAD TIMER : 0 (自動更新をしない) ※初期値、10 ~ 65535 秒
「SET」ボタン : 「SET」ボタンをクリックする。

9.2.5 WEB メニュー再読み込み

表示されている WEB メニューを手動にて更新し、WEB ブラウザに表示します。

設定条件 なし

選択範囲 「RELOAD」ボタン : 「RELOAD」ボタンをクリックする。

9.3 NAME EDIT メニュー

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)/nameedit.html」と入力すると、NAME EDIT メニューが表示されます。NAME EDIT メニューでは、制御コマンドボタンの名前を編集します。



[図 9.3] NAME EDIT メニュー

① WEB メニューのリンク	【9.3.1】	40 ページ
② ボタンの名前編集	【9.3.2】	40 ページ
③ WEB メニュー再読み込み	【9.3.3】	40 ページ
④ 設定ボタン	【9.3.4】	40 ページ

9.3.1 WEB メニューのリンク

各 WEB メニューに移動するリンク一覧です。 クリックした名前の WEB メニューへ移動します。

設定条件 なし

選択範囲 リンク : リンクをクリックする。

9.3.2 ボタンの名前編集

1 ~ 16 までの欄に直接入力することで、各制御コマンドボタンの名前を編集します。

本メニューでは、MAIN メニューに表示されている、制御コマンドボタンの名前を変更することが可能です。

「SEND」 ボタンをクリックすると、設定が更新されます。

設定条件 制御コマンドボタンごと

設定値 1 ~ 16 : 任意の文字列 (最大 半角英数字 10 文字、全角英数字 5 文字)

【参照 : 9.2 MAIN メニュー (P.36)】

9.3.3 WEB メニュー再読み込み

表示されている WEB メニューを手動にて更新し、WEB ブラウザに表示します。

設定条件 なし

選択範囲 「RELOAD」 ボタン : 「RELOAD」 ボタンをクリックする。

9.3.4 設定ボタン

「SEND」 ボタンをクリックすることで 制御コマンドボタンの名前を本機に登録します。

設定条件 なし

選択範囲 「SEND」 ボタン : 「SEND」 ボタンをクリックする。

9.4 DATA MONITOR メニュー

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)/datamonitor.html」と入力すると、NAME EDIT メニューが表示されます。本機が送受信した制御コマンドの通信履歴を表示します。



[図 9.4] DATA MONITOR メニュー

① WEB メニューのリンク	【9.4.1】	42 ページ
② データモニタ	【9.4.2】	42 ページ
③ 表示方法の変更	【9.4.3】	42 ページ
④ 自動更新の停止と開始	【9.4.4】	42 ページ
⑤ データモニタの初期化	【9.4.5】	43 ページ

9.4.1 WEB メニューのリンク

各 WEB メニューに移動するリンク一覧です。 クリックした名前の WEB メニューへ移動します。

設定条件 なし

選択範囲 リンク：リンクをクリックする。

9.4.2 データモニタ

本機が送信した制御コマンドと受信した返信コマンドの通信履歴を表示します。

データモニタは、LAN1～LAN7 と RS-232C の通信を表示します。

設定条件 なし

選択範囲 なし (読み取り専用)

9.4.3 表示方法の変更

データモニタに表示されている、制御コマンドと受信した返信コマンドの通信履歴を HEX データまたは ASCII データとして表示することが可能です。

「HEX」ボタンをクリックすることでデータモニタの表示方法が HEX 表示になります。

再度、クリックすることでデータモニタの表示方法が ASCII 表示に戻ります。

設定条件 なし

選択範囲 「HEX」ボタン：「HEX」ボタンまたは「ASCII」ボタンをクリックする。



[図 9.5] HEX ボタンの変化

9.4.4 自動更新の停止と開始

DATA MONITOR メニューの自動更新の停止または開始することが可能です。

「STOP」ボタンをクリックすることで更新を一時停止し、それまでに表示した通信履歴を確認することができます。再度、ボタンをクリックすることで更新が再開されます。

設定条件 なし

選択範囲 「STOP」ボタン：「STOP」ボタンまたは「RUN」ボタンをクリックする。



[図 9.6] STOP ボタンの変化

9.4.5 データモニタの初期化

今までの記録されている、制御コマンドと受信した返信コマンドの通信履歴を削除します。

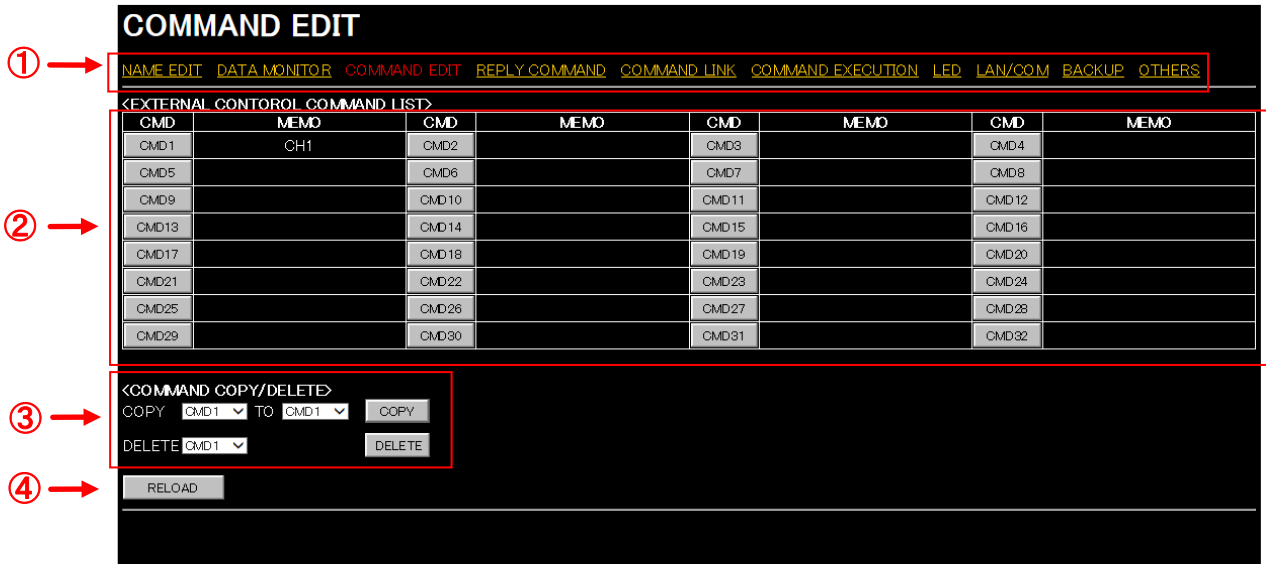
設定条件 なし

選択範囲 「CLEAR」ボタン：「CLEAR」ボタンをクリックする。

9.5 COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの一覧)

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)/commandedit.html」と入力すると、COMMAND EDIT メニュー(制御コマンドの一覧)が表示されます。

編集する制御コマンド番号のボタンをクリックすると、COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの詳細設定)に移動します。



[図 9.7] COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの一覧)

- | | | | |
|-----------------|-------|---------|--------|
| ① WEB メニューのリンク | | 【9.5.1】 | 45 ページ |
| ② 制御コマンドの一覧 | | 【9.5.2】 | 45 ページ |
| ③ 制御コマンドのコピーと削除 | | 【9.5.3】 | 45 ページ |
| ④ WEB メニュー再読み込み | | 【9.5.4】 | 46 ページ |

9.5.1 WEB メニューのリンク

各 WEB メニューに移動するリンク一覧です。 クリックした名前の WEB メニューへ移動します。

設定条件 なし

選択範囲 リンク：リンクをクリックする。

9.5.2 制御コマンドの一覧

制御コマンド 1～32 までの各コマンド編集ボタンです。

「CMD」ボタンをクリックすると、選択した制御コマンドの詳細設定画面が表示されます。「MEMO」には COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの詳細設定) の「MEMO」に記載した内容が表示されます。

設定条件 なし

選択範囲 「CMD」ボタン：CMD 1 ～ CMD 32 ボタン

【参照：9.6 COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの詳細設定) (P.47)】

9.5.3 制御コマンドのコピーと削除

登録されている制御コマンドのコピーと削除をします。

設定条件 制御コマンドが最低 1 コマンドでも登録されていること

選択範囲 CMD コンボボックス：CMD 1 ～ CMD 32

「COPY」ボタン：「COPY」ボタンをクリックする。

「DELETE」ボタン：「DELETE」ボタンをクリックする。

下の設定で「COPY」ボタンをクリックしたときは、CMD1 に登録されている制御コマンドを CMD10 にコピーします。



[図 9.8] コピー設定

下の設定で「DELETE」ボタンをクリックしたときは、CMD1 に登録されている制御コマンドを削除します。



[図 9.9] 削除設定

9.5.4 WEB メニュー再読み込み

表示されている WEB メニューを手動にて更新し、WEB ブラウザに表示します。

設定条件 なし

選択範囲 「RELOAD」ボタン：「RELOAD」ボタンをクリック する。

9.6 COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの詳細設定)

制御コマンド編集ボタンをクリックしたときに表示されるメニューです。

COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの一覧) から選択された制御コマンドの詳細設定をします。



[図 9.10] COMMAND EDIT メニュー (制御コマンド詳細設定)

① WEB メニューのリンク	【9.6.1】	48 ページ
② 制御コマンドの設定	【9.6.2】	48 ページ
③ 返信コマンドの関連付け	【9.6.3】	52 ページ
④ 制御コマンドの入力サポート	【9.6.4】	53 ページ
⑤ WEB メニュー再読み込み	【9.6.5】	60 ページ
⑥ 戻るボタン	【9.6.6】	60 ページ
⑦ 設定ボタン	【9.6.7】	60 ページ

9.6.1 WEB メニューのリンク

各 WEB メニューに移動するリンク一覧です。 クリックした名前の WEB メニューへ移動します。

設定条件 なし

選択範囲 リンク：リンクをクリックする。

9.6.2 制御コマンドの設定

制御コマンドを編集します。

制御コマンドの設定は、制御コマンドの設定項目のようになります。

設定条件 各制御コマンドの設定項目の表を参照





選択範囲 「CLEAR」ボタン：「CLEAR」ボタンをクリックする。

設定値 制御コマンドの設定項目の範囲内

[表 9.1] 制御コマンドの設定項目

項目	内容	設定範囲	
MEMO (メモ)	最大 14 文字のコメントを登録できます。 登録した「メモ」は制御コマンドの一覧に表示されます。	ASCII コードの“20”～“7D”で“2C”(カンマ)以外設定可能です。	
<PORT> (通信ポート)	制御コマンドを送信する通信ポートを選択します。 それぞれ個別に設定することができ、複数の通信ポートに同時に制御コマンドの送信が可能です。 RS-232C：RS-232C※ ¹ LOOP BACK：内部ループバック LAN1～LAN7：LAN コネクション 1～LAN コネクション 7※ ²	<input type="checkbox"/> RS-232C 送信しない ※初期値 <input checked="" type="checkbox"/> RS-232C 送信する	
<COMMAND SETTING>	DELAY (遅延時間)	制御コマンドを実行するまでの時間を設定します。 電源 OFF にクーリング時間が必要なプロジェクターなどを制御する場合に、制御コマンドの実行を遅らせ、時間調整することが可能です。	“0” ms ～ “999999” ms ※初期値 0 ms
	TIME OUT (タイムアウト時間) ※ ³ ※ ⁴	送信した制御コマンドに対する返信コマンドのタイムアウト時間を設定します。 タイムアウトを使用しない場合は、“0”を設定します。	“0” ms ～ “99999” ms ※初期値 “0” ms
	INTERVAL (リトライ間隔) ※ ³ ※ ⁴	リトライを実行するときに、再度制御コマンドを送信するまでの時間を指定します。	“0” ms ～ “99999” ms ※初期値 “0” ms
	RETRY (リトライ回数) ※ ³ ※ ⁴	送信した制御コマンドに対する有効な返信コマンドが返ってこなかった場合に、再度同じ制御コマンドを送信する回数を設定します。	“0” 回 ～ “99” 回 ※初期値 “0” 回
	RETRY OVER (リトライオーバー時の処理) ※ ³	「リトライ回数」で指定した回数分リトライしても返信コマンドが返ってこなかった場合に、次に登録されている制御コマンドを処理するかどうかを設定します。	STOP：制御コマンドを停止する ※初期値 EXEC：制御コマンドを継続する

[表 9.1] 制御コマンドの設定項目(つづき)

項目	内容	設定範囲	
<DATA>	INPUT MODE (送信コマンドデータの 入力モード)	「送信コマンドデータ」の入力モードを設定します。「送信コマンドデータ」が ASCII コードの“0A”、“0D”、“20”～“7D”(テキスト)のみで構成される場合は“ASCII”を選択し、送信コマンドデータにそれ以外のコードが含まれる場合は、“HEX”を選択します。	送信コマンドデータの入力モードを設定します。 送信コマンドデータが ASCII コードの“0A”、“0D”、“20”～“7D”(テキスト)のみで構成される場合は“ASCII”を選択し、送信コマンドデータにそれ以外のコードが含まれる場合は、“HEX”を選択します。
	SIZE (サイズ)	「送信コマンドデータ」の1バイト目から何バイト分のデータを送信するのかを設定します。「サイズ」は、「送信コマンドデータの入力モード」を“HEX”を選択したときに表示されます。	“0”～“30” ※初期値 “0”
	DATA (送信コマンドデータ)	送信するコマンドを、1バイト目から順に「サイズ」で設定したバイト数分設定します。(最大 30 バイト)	ASCII コードの“0A”、“0D”、“20”～“7D”(ASCII 文字入力時)、または 16 進数の“00”～“FF”(16 進数入力時)※初期値 “20”(スペース) (上記の数値はすべて 16 進表記)
<REPLY>	REPLY DISPLAY (受信データの チェック) ※5	送受信を行なった際に IDK 製品と PJLink のエラー時にタイムアウトのチェックを行う場合は設定を行います	OFF : チェックしない ※初期値 ASCII : ASCII 文字(テキスト)でチェックする HEX : 16 進数でチェックする
	DELIMITER (デリミタの チェック)※5	受信データの最後に送られてくるデリミタを設定します。“デリミタをチェックしない”設定にすると、「タイムアウト時間」で設定した時間内の全受信データが有効なデータになります。“デリミタをチェックしない”以外に設定すると、デリミタまでの受信データが有効なデータになります。	 デリミタをチェックしない ※初期値  デリミタをチェックする (デリミタの設定範囲は 16 進数の“00”～“FF”です。)
	REPLY COMMAND LINK (返信コマンドの チェックの有無) ※3※6	「LINK」ボタンを押すことで設定用ウィンドウ<REPLY COMMAND LINK>が開きます。 送信したコマンドに対して、返信される可能性のある返信コマンドを設定します。	 チェックしない ※初期値  チェックする

- ※1 “RS-232C”を“ON”に設定した場合は、9.13 LAN / COM メニュー (P.86) にて RS-232C を“送信モード”に設定する必要があります。
- ※2 “LAN1”～“LAN7”を送信するに設定した場合は、“送信モード”に設定する必要があります。
- ※3 「返信コマンドのチェックの有無」のチェックしない場合は、設定不要です。
- ※4 「通信ポート」の“LOOP BACK”のみを送信する場合は、設定不要です。
- ※5 「受信データのチェック」に“OFF”を選択した場合は、設定不要です。
- ※6 「受信データのチェック」に“ASCII”または“HEX”を選択した場合は、設定できません。

■ループバック機能の設定

ループバック機能を使用して本機に制御コマンドを送信した場合、正常に処理できると“OK”、パラメータやコマンドに誤りがあると“NG”を返信コマンドとして返します。返信コマンドをチェックする場合は、返信コマンド 31 および 32 を“チェックする”に設定してください。

「INPUT MODE」が“ASCII”の場合、送信コマンドデータの入力ボックスは下の図のように表示されます。



[図 9.11] ASCII の制御コマンドの入力ボックス

「INPUTMODE」が“ASCII”で特殊文字を入力するときは、下の表のように設定してください。

[表 9.2] 特殊文字の入力方法

HEX	ASCII	HEX	ASCII
00	'NUL'	11	'DC1'
01	'SOH'	12	'DC2'
02	'STX'	13	'DC3'
03	'ETX'	14	'DC4'
04	'EOT'	15	'NAK'
05	'ENQ'	16	'SYN'
06	'ACK'	17	'ETB'
07	'BEL'	18	'18'
08	'BS'	19	'EM'
09	'HT'	1A	'SUB'
0A	'LF'	1B	'ESC'
0B	'VT'	1C	'FS'
0C	'0C'	1D	'GS'
0D	'CR'	1E	'RS'
0E	'S0'	1F	'US'
0F	'SI'	7F	'DEL'
10	'DLE'		

「INPUT MODE」が“HEX”の場合、送信コマンドデータの入力ボックスは下の図のような表示になります。

INPUT MODE		HEX	CLEAR												
SIZE	8														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
40	52	50	4D	2C	31	0D	0A	20	20	20	20	20	20	20	
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	

[図 9.12] HEX の制御コマンドの入力ボックス

9.6.3 返信コマンドの関連付け

返信コマンドの関連付けを行う前に、返信コマンドが登録されている必要があります。

「LINK」ボタンを押すことで、送信した制御コマンドに対しての返答をチェックする返信コマンドの設定用ウィンドウが開きます。

設定条件 返信コマンドが登録されていること。

設定範囲 マトリクススイッチャ、マルチスイッチャおよびプロジェクターの使用される制御コマンド

NO.	MEMO	LINK
1	CH1 REPLY	<input checked="" type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/>
3		<input type="checkbox"/>
4		<input type="checkbox"/>
5		<input type="checkbox"/>
6		<input type="checkbox"/>
7		<input type="checkbox"/>
8		<input type="checkbox"/>
9		<input type="checkbox"/>
10		<input type="checkbox"/>
11		<input type="checkbox"/>
12		<input type="checkbox"/>
13		<input type="checkbox"/>
14		<input type="checkbox"/>
15		<input type="checkbox"/>
16		<input type="checkbox"/>

[図 9.13] REPLY COMMAND LINK

LINKのチェックボックスをチェックして、「OK」ボタンを押すことで、制御コマンド送信時にその返信コマンドが返信されたかどうかの判定を行います。

返信コマンドが返答された場合、返信コマンドの処理判定で設定した制御コマンドを停止させるか、続けて制御コマンドを送信するなど内容に応じて、動作を変更することができます。

【参照：9.7 REPLY COMMAND メニュー (返信コマンドの一覧) (P.61)】

9.6.4 制御コマンドの入力サポート

「TEMPLATE」ボタンを押すことで、制御コマンドの入力サポートのウィンドウを開くことができます。MODE を切り換えることにより、クリックの動作だけで制御コマンドが登録できます。登録されているコマンドは、IDK の制御コマンド、PJLink コマンドなどが搭載されています。なお、搭載されていない製品のコマンドは、直接コマンドを登録することもできます。

【参照：10 製品仕様 (P.95)】

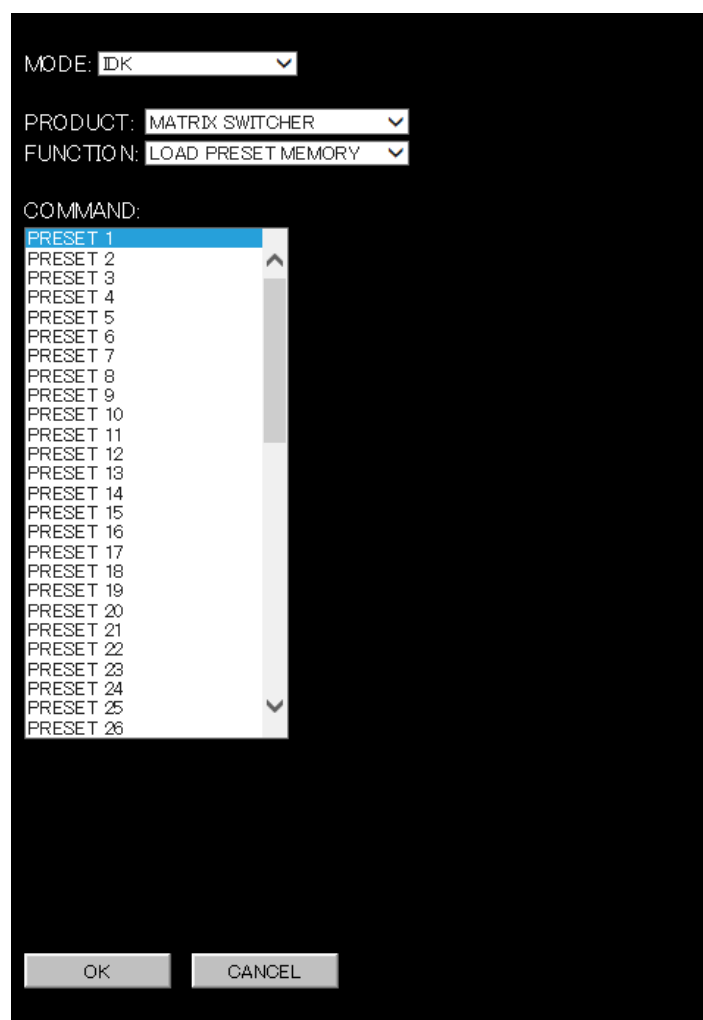
【参照：9.6.2 制御コマンドの設定 (P.48)】

また、制御コマンドの誤入力を防ぐため、MODE から“ASCII”を選択し、ASCII コードを入力するボタンを表示することも可能です。*

* INPUT MODE を“HEX”を選択した場合のみ、表示されます。

設定条件 なし

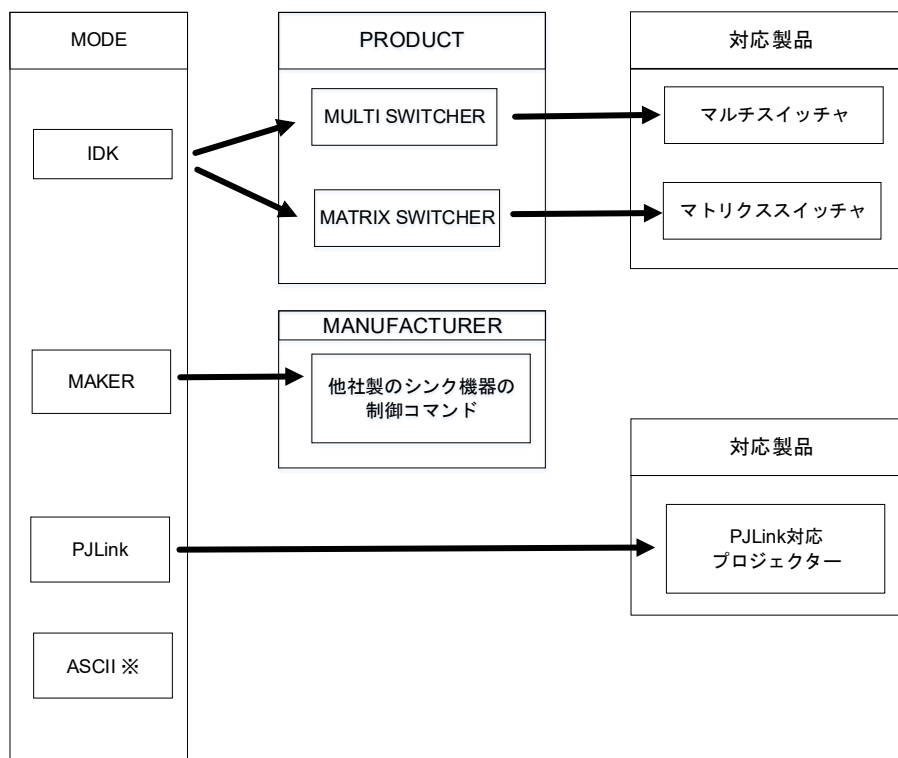
設定範囲 マトリクススイッチャ、マルチスイッチャおよびプロジェクターのよく使用される制御コマンド



[図 9.14] 制御コマンドの入力サポート

制御コマンド入力サポートに登録されている制御コマンドは、マトリクススイッチャ、マルチスイッチャおよびPJLink コマンドなどに対応しています。
各製品に合わせ、制御コマンド入力サポートのモードを切り換えます。

制御コマンド入力サポートの階層と対応製品は以下のようになっています。



[図 9.15] 制御コマンドの入力サポートの階層と対応製品

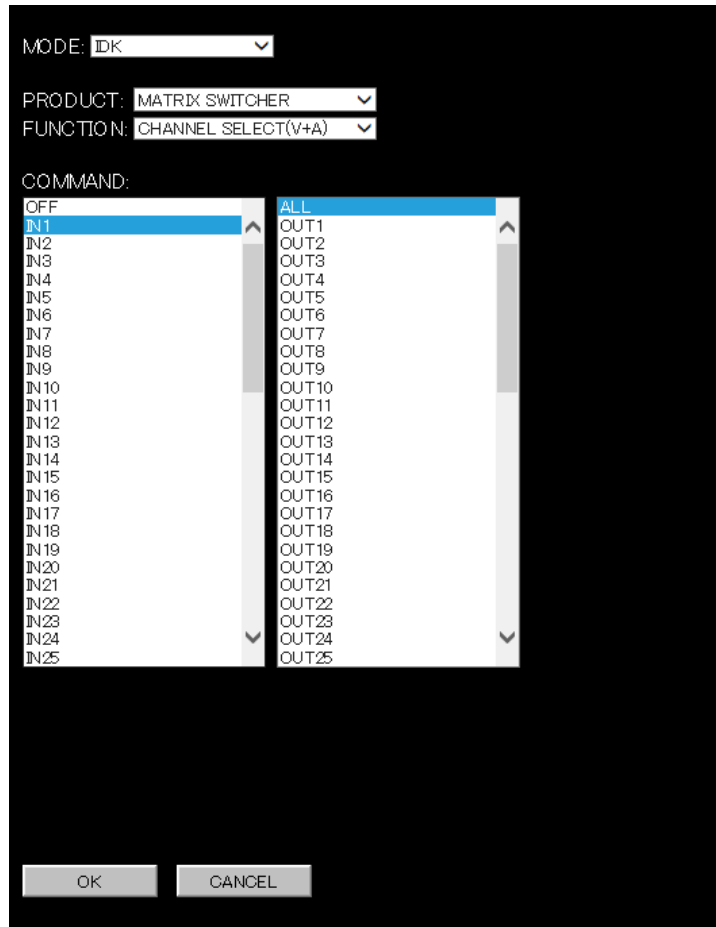
[表 9.3] MODE の説明

MODE	内容
IDK	マトリクススイッチャ、マルチスイッチャの制御コマンドのテンプレートを表示します。
MAKER	他社製のシンク機器に使用する制御コマンドのテンプレートを表示します。
PJLink	PJLink コマンドのテンプレートを表示します。
ASCII※	ASCII コードを入力するボタンを表示します。

※ INPUT MODE を”HEX”を選択した場合のみ、表示されます。

「MODE」が「IDK」の場合、「PRODUCT」の項目が表示されます。

「PRODUCT」の項目の選択を切り換えることにより、各対応製品の制御コマンドがCOMMAND リストに表示されます。



[図 9.16] CHANNEL SELECT (V+A)のテンプレート

COMMAND リストの表示後、任意の制御コマンドを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリックすることで、選択した制御コマンドが **9.6 COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの詳細設定) (P.47)** に設定されます。

「OK」ボタンをクリックすると下の赤枠に、制御コマンドが設定されます。

COMMAND EDIT

NAME EDIT DATA MONITOR **COMMAND EDIT** REPLY COMMAND COMMAND LINK COMMAND EXECUTION LED LAN/COM BACKUP OTHERS

CMD NO.1 MEMO CH1

<PORT>
 RS-232C LOOP BACK
 LAN1 LAN2 LAN3 LAN4 LAN5 LAN6 LAN7

<COMMAND SETTING>
 DELAY ms (0-999999ms) TIME OUT ms (0-99999ms)
 INTERVAL ms (0-99999ms)
 RETRY (0-99) RETRY OVER STOP

<DATA>
 INPUT MODE ASCII CLEAR

@!0S,1,0'CR'LF'

Enter 'CR' for '0D' in hex.

<REPLY>
 REPLY DISPLAY OFF DELIMITER HEX 100 LINK

TEMPLATE

RELOAD BACK SEND

[図 9.17] 制御コマンド入力サポートからの登録後

テンプレートからは制御コマンドの<DATA>の項目が設定されます。そのため、使用する<PORT> (通信ポート) や“MEMO”などは設定する必要があります。
 また、すべての設定が完了後「SEND」ボタンを押してください。

■PJLink の設定

本機はプロジェクター制御の標準プロトコル PJLink に対応しています。

PJLink を使用する場合は、<PORT>に PJLink プロトコルで接続する LAN ポートを選択してください。選択することで、<DATA>の入力時に、PJLink コマンドを選択することができます。

以下の内容は、参考です。PJLink の制御コマンドの詳細に関しては、PJLink の規格書をご確認ください。

[表 9.4] PJLink コマンド (class1) 一覧

番号	コマンド										意味
1	%	1	P	O	W	R	(SP)	0	(CR)		電源 OFF (スタンバイ)
2	%	1	P	O	W	R	(SP)	1	(CR)		電源 ON (ランプオン)
3	%	1	P	O	W	R	(SP)	?	(CR)		電源状態取得
4	%	1	I	N	P	T	(SP)	1	※1	(CR)	RGB への入力切り換え
5	%	1	I	N	P	T	(SP)	2	※1	(CR)	VIDEO への入力切り換え
6	%	1	I	N	P	T	(SP)	3	※1	(CR)	DIGITAL への入力切り換え
7	%	1	I	N	P	T	(SP)	4	※1	(CR)	STORAGE への入力切り換え
8	%	1	I	N	P	T	(SP)	5	※1	(CR)	NETWORK への入力切り換え
9	%	1	I	N	P	T	(SP)	?	CR		入力選択設定取得
10	%	1	A	V	M	T	(SP)	1	0	(CR)	映像ミュート OFF
11	%	1	A	V	M	T	(SP)	1	1	(CR)	映像ミュート ON
12	%	1	A	V	M	T	(SP)	2	0	(CR)	音声ミュート OFF
13	%	1	A	V	M	T	(SP)	2	1	(CR)	音声ミュート ON
14	%	1	A	V	M	T	(SP)	3	0	(CR)	映像+音声ミュート OFF
15	%	1	A	V	M	T	(SP)	3	1	(CR)	映像+音声ミュート ON
16	%	1	A	V	M	T	(SP)	?	(CR)		ミュート設定取得
17	%	1	E	R	S	T	(SP)	?	(CR)		エラー状態取得
18	%	1	L	A	M	P	(SP)	?	(CR)		ランプ時間およびランプ状態取得
19	%	1	I	N	S	T	(SP)	?	(CR)		入力切り換え一覧取得
20	%	1	N	A	M	E	(SP)	?	(CR)		プロジェクター名取得
21	%	1	I	N	F	1	(SP)	?	(CR)		メーカー名取得
22	%	1	I	N	F	2	(SP)	?	(CR)		機種名取得
23	%	1	I	N	F	O	(SP)	?	(CR)		その他情報 (メーカー任意) 取得

(SP) :スペース、(CR) :デリミタ

※1 入力の番号で、1～9を指定可能です。ただし、接続するプロジェクターによって選択可能な入力端子の種類および数が異なります。初期値は、1を表示します。

PJLink コマンドに対する返信コマンドは、6 バイト目までは送信したコマンドデータがそのまま返信され、7 バイト目に「=」、8 バイト目以降に処理結果が返信されます。プロジェクターは、PJLink コマンドを受信してから 2 秒以内に返信コマンドを返すように PJLink の仕様書で規定されていますが、接続するプロジェクターによっては別途規定されている場合があります。お使いのプロジェクターの取扱説明書に応答時間が記載されている場合は、そちらを優先してください。

[表 9.5] PJLink コマンド (class1) の返信コマンド一覧

番号	コマンド											意味	
1	%	1	x	x	x	x	=	O	K	(CR)		正常終了	
2	%	1	x	x	x	x	=	E	R	R	1	(CR)	コマンドの誤り(未定義コマンド)
3	%	1	x	x	x	x	=	E	R	R	2	(CR)	パラメータが不正
4	%	1	x	x	x	x	=	E	R	R	3	(CR)	現在受け付け不可期間
5	%	1	x	x	x	x	=	E	R	R	4	(CR)	プロジェクター異常

[表 9.6] 状態取得コマンドの個別返信コマンド一覧

番号	コマンド											意味		
電源状態取得コマンドの返信コマンド														
1	%	1	P	O	W	R	=	0	(CR)			スタンバイ		
2	%	1	P	O	W	R	=	1	(CR)			電源 ON		
3	%	1	P	O	W	R	=	2	(CR)			クーリング中		
4	%	1	P	O	W	R	=	3	(CR)			ウォームアップ中		
入力選択設定取得の返信コマンド														
1	%	1	I	N	P	T	=	1	※2	(CR)		RGB が選択されている		
2	%	1	I	N	P	T	=	2	※2	(CR)		VIDEO が選択されている		
3	%	1	I	N	P	T	=	3	※2	(CR)		DIGITAL が選択されている		
4	%	1	I	N	P	T	=	4	※2	(CR)		STORAGE が選択されている		
5	%	1	I	N	P	T	=	5	※2	(CR)		NETWORK が選択されている		
ミュート取得設定														
1	%	1	A	V	M	T	=	3	0	(CR)		映像+音声ミュート OFF		
2	%	1	A	V	M	T	=	1	1	(CR)		映像ミュート ON		
3	%	1	A	V	M	T	=	2	1	(CR)		音声ミュート ON		
4	%	1	A	V	M	T	=	3	1	(CR)		映像+音声ミュート ON		
エラー状態取得														
1	%	1	E	R	S	T	=	※3	※4	※5	※6	※7	※8	(CR)
ランプ時間およびランプ状態取得														
1	%	1	L	A	M	P	=	※9	(SP)	※10	(CR)			
入力切り換え一覧取得														
1	%	1	I	N	S	T	=	※11	(CR)					
プロジェクター名取得														
1	%	1	N	A	M	E	=	※12	(CR)					
メーカー名取得														
1	%	1	I	N	F	1	=	※13	(CR)					
機種名取得														
1	%	1	I	N	F	2	=	※13	(CR)					
その他情報(メーカー任意)取得														
1	%	1	I	N	F	O	=	※13	(CR)					

※2 入力の番号で、1~9 のいずれかになります。ただし、接続するプロジェクターによって選択可能な入力端子の種類および数が異なります。

- ※3 ファンエラーの状態です。
- ※4 ランプエラーの状態です。
- ※5 温度エラーの状態です。
- ※6 カバーオープンエラーの状態です。
- ※7 フィルターエラーの状態です。
0 : エラー未検出 / エラー検出機能なし、1 : 警告、2 : エラー
- ※8 その他のエラーの状態です。
- ※9 ランプの積算時間で、0~99999 のいずれかになります。
(ランプの積算時間をカウントしていないプロジェクターは常に 0 になります。)
- ※10 ランプの点灯状態です。0 : ランプ消灯、1 : ランプ点灯
ランプが複数ある機種は、(SP) で区切って積算時間と点灯状態を続けて返信します。
- ※11 入力切り換え可能なソース番号で、11~59 のいずれかになります。(意味は%INPT コマンドと同じです。) 入力が複数ある機種は、(SP) で区切って複数のステータスを送信します。
- ※12 16 進数の 20~FF で、最大 64 文字になります。
- ※13 16 進数の 20~7F で、最大 32 文字になります。

9.6.5 WEB メニュー再読み込み

表示されている WEB メニューを手動にて更新し、WEB ブラウザに表示します。

設定条件 なし

選択範囲 「RELOAD」ボタン：「RELOAD」ボタンをクリックする。

9.6.6 戻るボタン

ボタンをクリックすることで COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの一覧) に戻ります。

設定条件 なし

選択範囲 「BACK」ボタン：「BACK」ボタンをクリックする。

9.6.7 設定ボタン

「SEND」ボタンをクリックすることで COMMAND EDIT メニュー (制御コマンドの詳細設定)の設定内容を本機に設定します。

設定条件 なし

選択範囲 「SEND」ボタン：「SEND」ボタンをクリックする。

9.7 REPLY COMMAND メニュー (返信コマンドの一覧)

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)/replycommand.html」と入力すると、REPLY COMMAND メニュー (返信コマンドの一覧) が表示されます。返信コマンドの登録をメニューで、返信コマンドは最大 32 個まで登録可能です。返信コマンドの編集を行う返信コマンドの番号を選択します。

REPLY COMMAND

NAME EDIT DATA MONITOR COMMAND EDIT REPLY COMMAND COMMAND LINK COMMAND EXECUTION LED LAN/COM BACKUP OTHERS

<REPLY COMMAND LIST>

CMD	MEMO	CMD	MEMO	CMD	MEMO	CMD	MEMO
CMD1	CH1 REPLY	CMD2		CMD3		CMD4	
CMD5		CMD6		CMD7		CMD8	
CMD9		CMD10		CMD11		CMD12	
CMD13		CMD14		CMD15		CMD16	
CMD17		CMD18		CMD19		CMD20	
CMD21		CMD22		CMD23		CMD24	
CMD25		CMD26		CMD27		CMD28	
CMD29		CMD30		CMD31	OK	CMD32	NG

<REPLY COMMAND COPY/DELETE>

COPY: CMD1 TO CMD1 COPY

DELETE: CMD1 DELETE

RELOAD

[図 9.18] 返信コマンド編集画面

- | | | | |
|-----------------|-------|---------|--------|
| ① WEB メニューのリンク | | [9.7.1] | 62 ページ |
| ② 返信コマンド一覧 | | [9.7.2] | 62 ページ |
| ③ 返信コマンドのコピーと削除 | | [9.7.3] | 62 ページ |
| ④ WEB メニュー再読み込み | | [9.7.4] | 63 ページ |

9.7.1 WEB メニューのリンク

各 WEB メニューに移動するリンク一覧です。 クリックした名前の WEB メニューへ移動します。

設定条件 なし

選択範囲 リンク：リンクをクリックする。

9.7.2 返信コマンド一覧

返信コマンドの 1～32 までの返信コマンド CMD ボタンや返信コマンド名を表示する MEMO が表示されます。CMD ボタンをクリックすることで、選択した返信コマンドの詳細設定画面を表示します。MEMO には返信コマンドの詳細画面の MEMO に記載した内容が表示されます。

MEMO の設定方法は参照をご確認ください。

設定条件 なし

選択範囲 「CMD」ボタン：CMD 1～CMD 32 ボタン

【参照：REPLY COMMAND メニュー (返信コマンドの詳細設定) (P.64)】

9.7.3 返信コマンドのコピーと削除

登録されている返信コマンドのコピーと削除をします。

設定条件 返信コマンドが最低 1 コマンドでも登録されていること

選択範囲 CMD コンボボックス：CMD 1～CMD 32 ボタン
「COPY」ボタン：「COPY」ボタンをクリック
「DELETE」ボタン：「DELETE」ボタンをクリック

下の設定で「COPY」ボタンをクリックしたときは、CMD1 に登録されている返信コマンドを CMD10 にコピーします。



[図 9.19] コピー設定

下の設定で「DELETE」ボタンをクリックしたときは、CMD1 に登録されている返信コマンドを削除します。



[図 9.20] 削除設定

9.7.4 WEB メニュー再読み込み

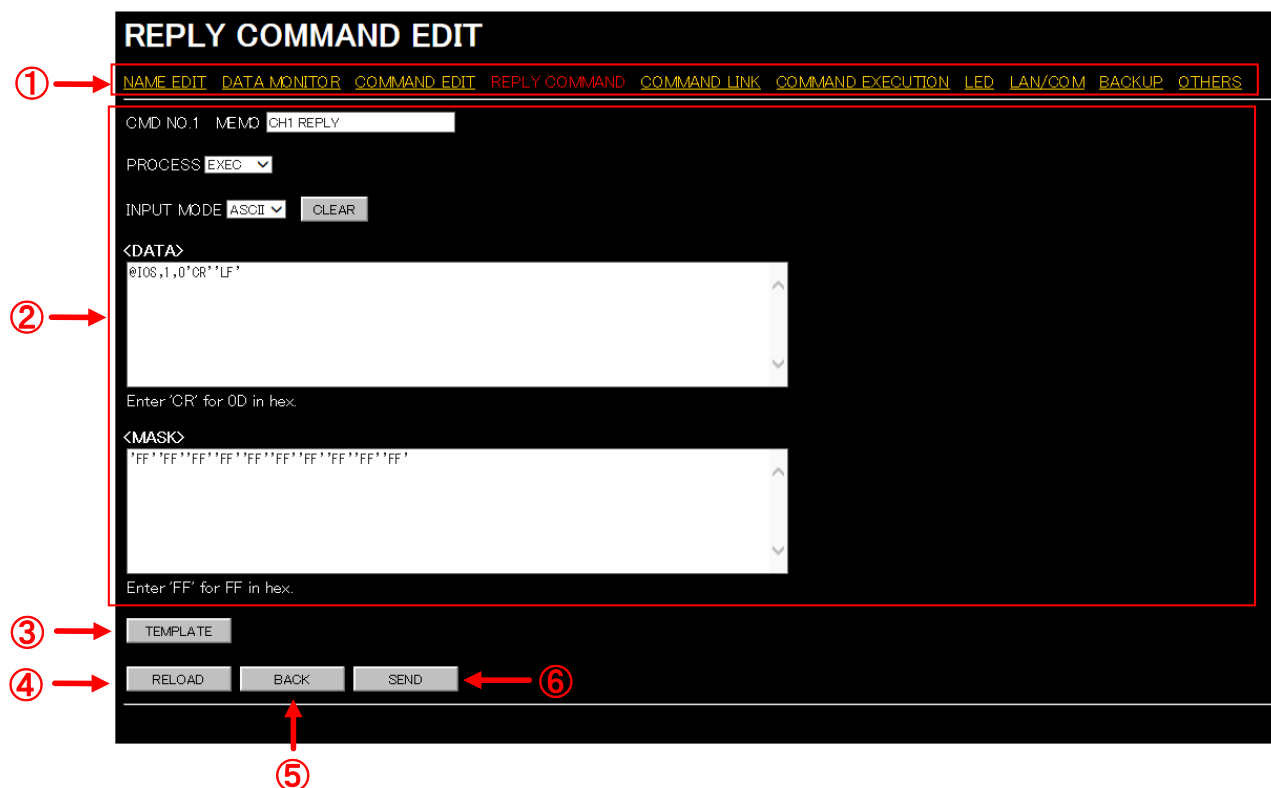
表示されている WEB メニューを手動にて更新し、WEB ブラウザに表示します。

設定条件 なし

選択範囲 「RELOAD」ボタン：「RELOAD」ボタンをクリックする。

9.8 REPLY COMMAND メニュー (返信コマンドの詳細設定)

REPLY COMMAND メニュー (返信コマンドの一覧) の「CMD」ボタンをクリックしたときに表示される画面です。返信コマンドの詳細設定を行います。



[図 9.21] REPLY COMMAND メニュー (返信コマンドの詳細設定)

① WEB メニューのリンク	【9.8.1】	65 ページ
② 返信コマンドの設定	【9.8.2】	65 ページ
③ 返信コマンドの入力サポート	【9.8.3】	68 ページ
④ WEB メニュー再読み込み	【9.8.4】	72 ページ
⑤ 戻るボタン	【9.8.5】	72 ページ
⑥ 設定ボタン	【9.8.6】	73 ページ

9.8.1 WEB メニューのリンク

各 WEB メニューに移動するリンク一覧です。 クリックした名前の WEB メニューへ移動します。

設定条件 なし

選択範囲 リンク：リンクをクリックする。

9.8.2 返信コマンドの設定

返信コマンドの設定は、返信コマンドの設定項目の[表 9.7] 返信コマンドの設定項目のようになります。

設定条件 各返信コマンドの設定項目の表を参照

選択範囲 「CLEAR」ボタン：「CLEAR」ボタンをクリックする。

設定値 各返信コマンドの設定項目の範囲内

[表 9.7] 返信コマンドの設定項目

項目	内容	設定範囲
MEMO (メモ)	最大 14 文字のコメントを登録できます。 登録した「メモ」は返信コマンド一覧に表示されます。	ASCII コードの “20” ~ “7D” で “2C” (カンマ) 以外 ※初期値 “20” (スペース)
PROCESS (処理判定)	受信したデータと「返信コマンドデータ」が一致した 場合に、以降の処理を「継続する」、「コマンドを再 送信する」および「停止する」を設定します。	EXEC : 継続する ※初期値 RETRY : コマンドを再送信する STOP : 停止する
INPUT MODE (返信コマンド データとマス クデータの入 力モード)	「返信コマンドデータ」と「マスクデータ」の入力モ ードを設定します。「返信コマンドデータ」が ASCII コードの “0A”、“0D”、“20” ~ “7D” (テキスト)のみ で構成される場合は “ASCII” を選択し、「返信コマン ドデータ」にそれ以外のコードが含まれる場合は、 “HEX” を選択します。	ASCII : ASCII 文字 (テキスト) で入力する ※初期値 HEX : 16 進数で入力する
SIZE (サイズ)	「返信コマンドデータ」の 1 バイト目から何バイト分の データを比較するのかが設定します。 「サイズ」は、「返信コマンドデータとマスクデー タの入力モード」を “HEX” を選択したときに表示され ます。	“0” ~ “30” ※初期値 “0”
DATA (返信コマンド データ)	受信したデータと比較するコマンドを、1 バイト目か ら順に「サイズ」で設定したバイト数分設定します。英 文字 (“A” ~ “Z”、“a” ~ “z”) を指定する場合は、 大文字と小文字を区別するので、間違えないように入 力してください。(最大 30 バイト)	ASCII コードの “0A”、“0D”、“20” ~ “7D” (ASCII 文字入力時)、ま たは 16 進数の “00” ~ “FF” (16 進数入力時) ※初期値 “20” (スペース)
MASK (マスクデー タ)	受信したデータのビットで状態を判定する場合に使 用します。また、「返信コマンドデータとマスクデー タの入力モード」の設定が “HEX” の場合、設定でき ます。“ASCII” で入力した場合は、自動的に “FF” が 設定されます。	“00” ~ “FF”(16 進表記) ※初期値 すべて “FF”

初期値は返信コマンド 31、32 を除く。

「CLEAR」ボタンを押すことで SIZE、DATA および MASK を初期値に戻すことが可能です。

■ループバック機能を使用する場合

ループバック機能を使用して本機に制御コマンドを送信した場合、正常に処理できると「OK」、パラメータやコマンドに誤りがあると「NG」を返信コマンドとして返します (外部から受信した制御コマンドに対する返信コマンドとは異なります)。工場出荷時の初期設定では、返信コマンド 31 に「OK」、返信コマンド 32 に「NG」が登録されているので、制御コマンドをループバック機能で使用し、かつ返信コマンドをチェックする場合は、返信コマンド 31 および 32 を編集または削除しないでください。

ループバックの設定を有効にする場合は、参照をご確認ください。

[表 9.8] 返信コマンドの初期値

番号	SIZE (サイズ)	PROSECC (処理判定)	DATA (返信コマンド データ)	MASK (マスクデータ)	MEMO (メモ)
1	0 バイト	EXEC	すべて 00	すべて FF	すべて 20 (スペース)
2	0 バイト	EXEC	すべて 00	すべて FF	すべて 20 (スペース)
:	:	:	:	:	:
30	0 バイト	EXEC	すべて 00	すべて FF	すべて 20 (スペース)
31	2 バイト	EXEC	OK	すべて FF	OK
32	2 バイト	STOP	NG	すべて FF	NG

【参照：9.6.2 制御コマンドの設定 (P.48)】

■マスクデータについて

受信したデータは「マスクデータ」とビットごとの論理積をとり「返信コマンドデータ」と比較します。そのため、ビット単位で受信したデータを判定しない場合は、設定を変更する必要はありません。受信したデータのビットで状態を判定する場合に、設定をしてください。

外部機器から ASCII 文字 (テキスト) が返信される場合

ASCII 文字 (テキスト) が返信される場合は、受信したデータと「返信コマンドデータ」をそのまま比較するので、「マスクデータ」は“FF”に設定します。(「返信コマンドデータの入力モード」を ASCII に設定した場合は、自動的に“FF”に設定されます)

例えば、ASCII 文字(テキスト)で「0」(16進表記で 30) が返信される場合は、以下のようになります。

	2進表記		2進表記	16進表記
(受信したデータ)	00110000	& (マスクデータ)	11111111	=30
(返信コマンドデータ)	00110000			=30 一致

外部機器から受信したデータのビットで状態を判定する場合

受信したデータのビットで状態を判定する場合は、「マスクデータ」の判定するビットのみ“1”に設定し、判定しないビットは“0”に設定します。

例えば、受信したデータの上から2ビット目で状態を判定する場合は、以下のようになります。

	2進表記		2進表記	16進表記
(受信したデータ)	11111111	& (マスクデータ)	01000000	=40
(返信コマンドデータ)	01000000			=40 一致

	2進表記		2進表記	16進表記
(受信したデータ)	10111111	& (マスクデータ)	01000000	=00
(返信コマンドデータ)	01000000			=40 不一致

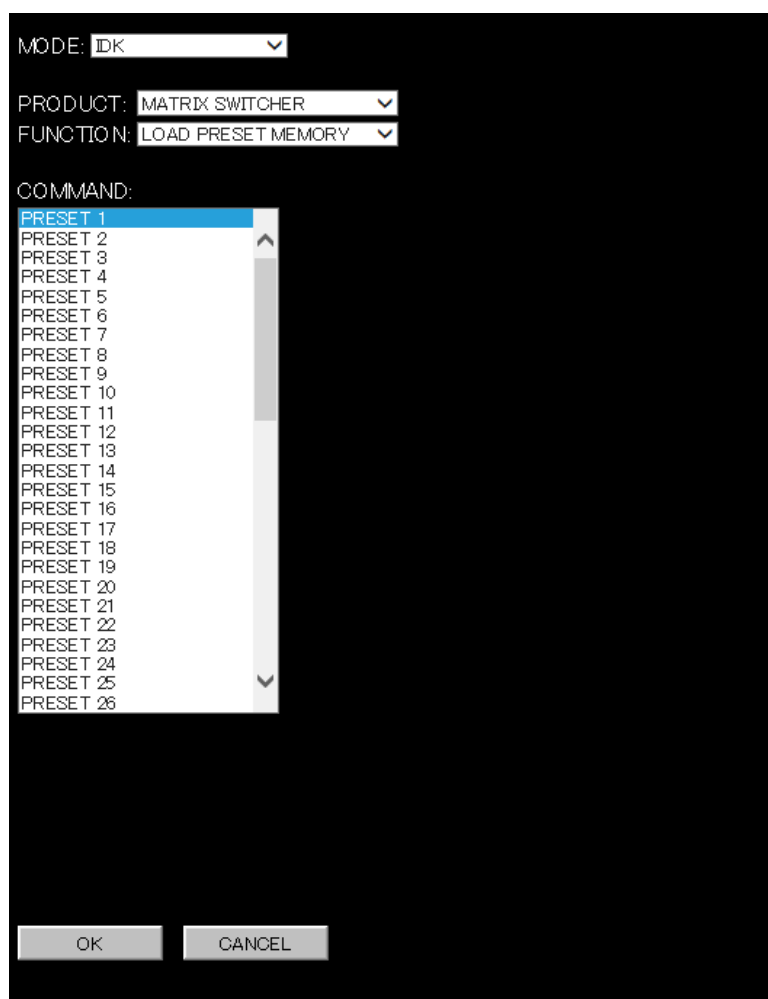
9.8.3 返信コマンドの入力サポート

「TEMPLATE」ボタンを押すことで、返信コマンドの入力サポートの画面を開くことができます。MODE を切り換えることにより制御に使用される返信コマンドが手入力なしで登録できます。登録されているコマンドは、IDK 製品の返信コマンド、PJLink コマンドが搭載されています。また、制御コマンドの誤入力を防ぐため、ASCII コードを入力するボタンを表示します。※

※ INPUT MODE が "HEX" を選択した場合のみ、表示されます。

設定条件 なし

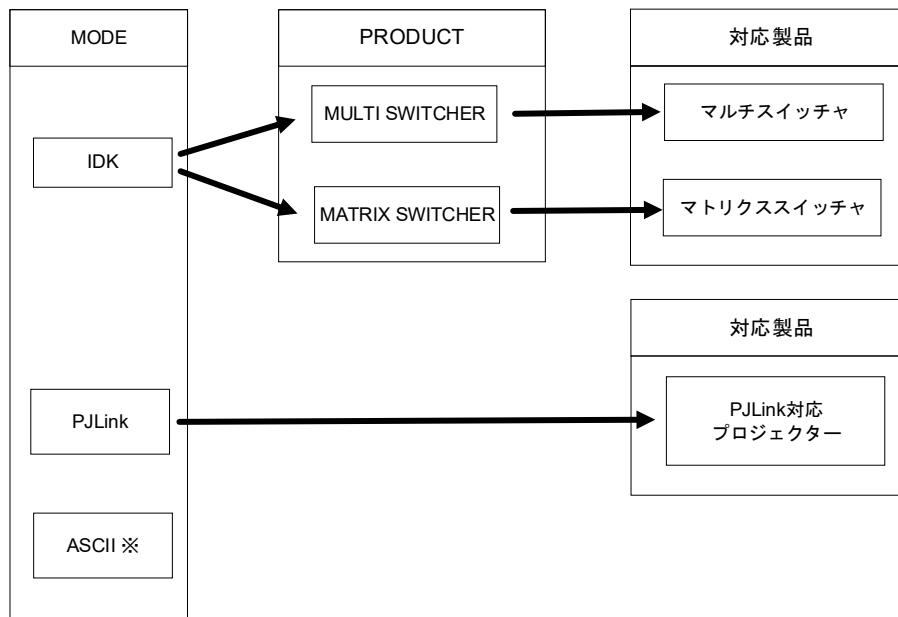
設定範囲 マトリクススイッチャ、マルチスイッチャおよび PJLink の返信コマンド



[図 9.22] 返信コマンドの入力サポート

各製品に合わせて、返信コマンド入力サポートのモードを切り換えます。

返信コマンド入力サポートの階層と対応製品は以下のようになっています。



[図 9.23] 返信コマンドの入力サポートの階層と対応製品

[表 9.9] MODE の説明

MODE	内容
IDK	マトリクススイッチャ、マルチスイッチャの返信コマンドのテンプレートを表示します。
PJLink	PJLink コマンドのテンプレートを表示します。
ASCII*	ASCII コードを入力するボタンを表示します。 製品に関係なく対応することが可能です。

※ 「INPUT MODE」が "HEX" を選択した場合のみ、表示されます。

「INPUT MODE」が "ASCII" の場合、送信コマンドデータの入力ボックスは下のようになります。



[図 9.24] ASCII の制御コマンドの入力ボックス

「INPUTMODE」が "ASCII" で特殊文字を入力するときは、以下の表のように設定してください。

[表 9.10] 特殊文字の入力方法

HEX	ASCII	HEX	ASCII
"00"	'NUL'	"11"	'DC1'
"01"	'SOH'	"12"	'DC2'
"02"	'STX'	"13"	'DC3'
"03"	'ETX'	"14"	'DC4'
"04"	'EOT'	"15"	'NAK'
"05"	'ENQ'	"16"	'SYN'
"06"	'ACK'	"17"	'ETB'
"07"	'BEL'	"18"	'18'
"08"	'BS'	"19"	'EM'
"09"	'HT'	"1A"	'SUB'
"0A"	'LF'	"1B"	'ESC'
"0B"	'VT'	"1C"	'FS'
"0C"	'OC'	"1D"	'GS'
"0D"	'CR'	"1E"	'RS'
"0E"	'S0'	"1F"	'US'
"0F"	'SI'	"7F"	'DEL'
"10"	'DLE'		

「INPUT MODE」が "HEX" の場合、返信コマンドデータとマスクデータの入力ボックスは下のようになります。

INPUT MODE **HEX** CLEAR

<DATA>
 SIZE 10

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
40	49	4F	53	2C	31	2C	30	0D	0A	20	20	20	20	20
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

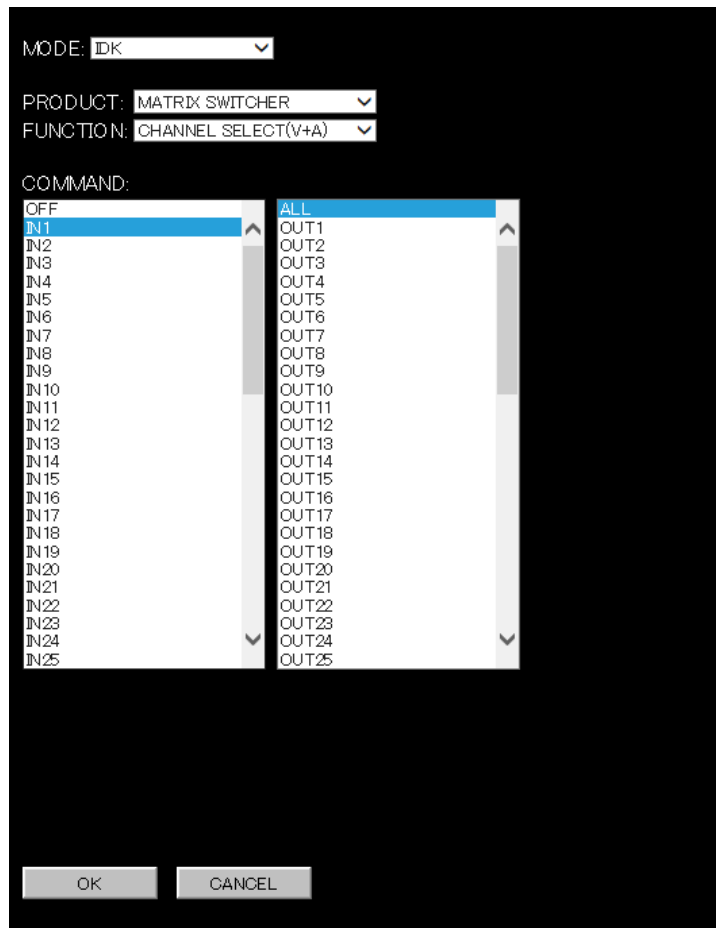
[図 9.25] HEX の返信コマンドの入力ボックス

<MASK>

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF

[図 9.26] HEX のマスクデータの入力ボックス

「MODE」が "IDK" の場合、「PRODUCT」の項目が表示されます。
 「PRODUCT」の項目の選択を切り換えることにより、各対応製品の返信コマンドが表示されます。

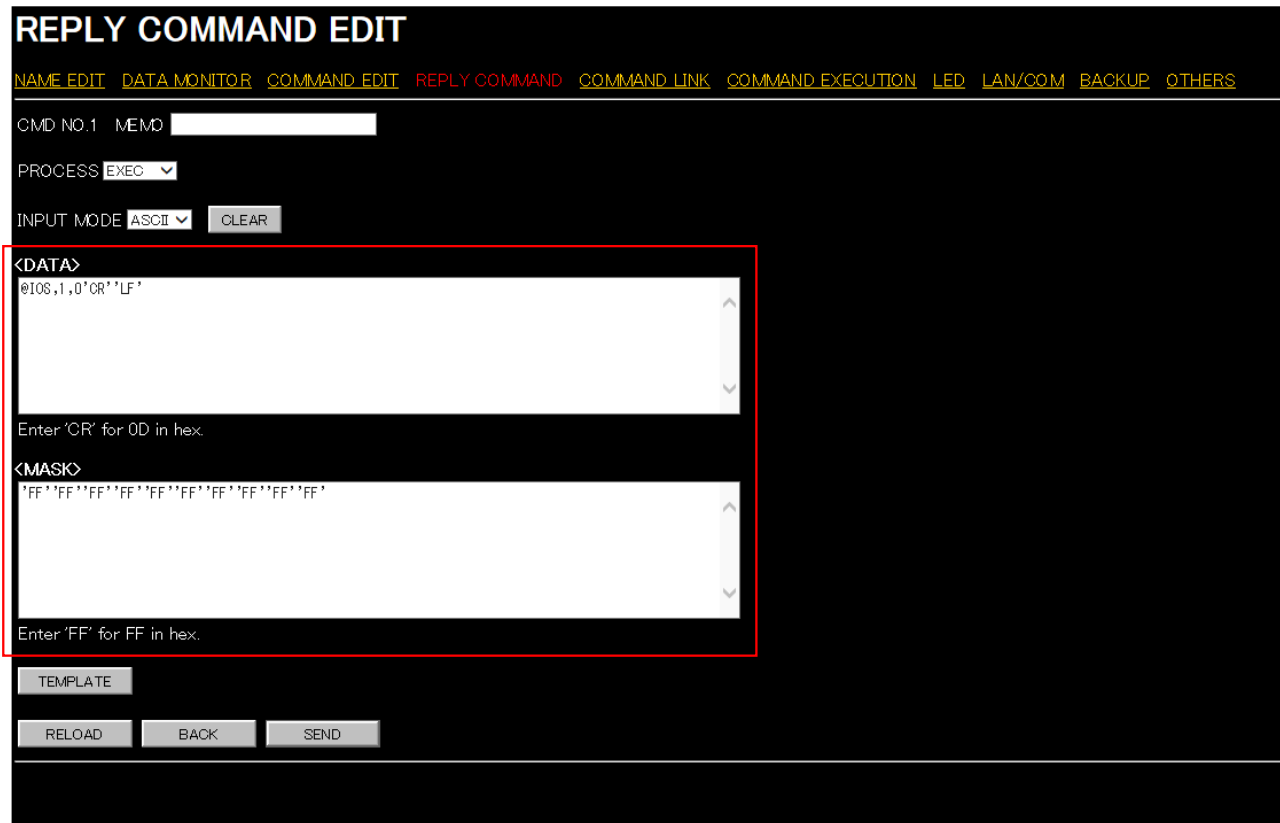


[図 9.27] CHANNEL SELECT (V+A)のテンプレート

COMMAND リストの表示後、任意の制御コマンドを選択し、「OK」ボタンを押します。

「OK」ボタンを押すことで、選択した制御コマンドが 9.7 REPLY COMMAND メニュー (返信コマンドの一覧) (P.61) に設定されます。

「OK」 ボタンをクリックすると下の赤枠のように、制御コマンドが登録されます。



[図 9.28] 制御コマンド入力サポートからの登録後

テンプレートからは返信コマンドの設定の<DATA>および<MASK>が設定されます。そのため、「MEMO」や「PROCESS」などは設定する必要があります。また、すべての設定が完了後「SEND」ボタンを押してください。

9.8.4 WEB メニュー再読み込み

表示されている WEB メニューを手動にて更新し、WEB ブラウザに表示します。

設定条件 なし

選択範囲 「RELOAD」ボタン：「RELOAD」ボタンをクリックする。

9.8.5 戻るボタン

ボタンをクリックすることで REPLYCOMMAND メニュー (返信コマンドの一覧) に戻ります。

設定条件 なし

選択範囲 「BACK」ボタン：「BACK」ボタンをクリックする。

9.8.6 設定ボタン

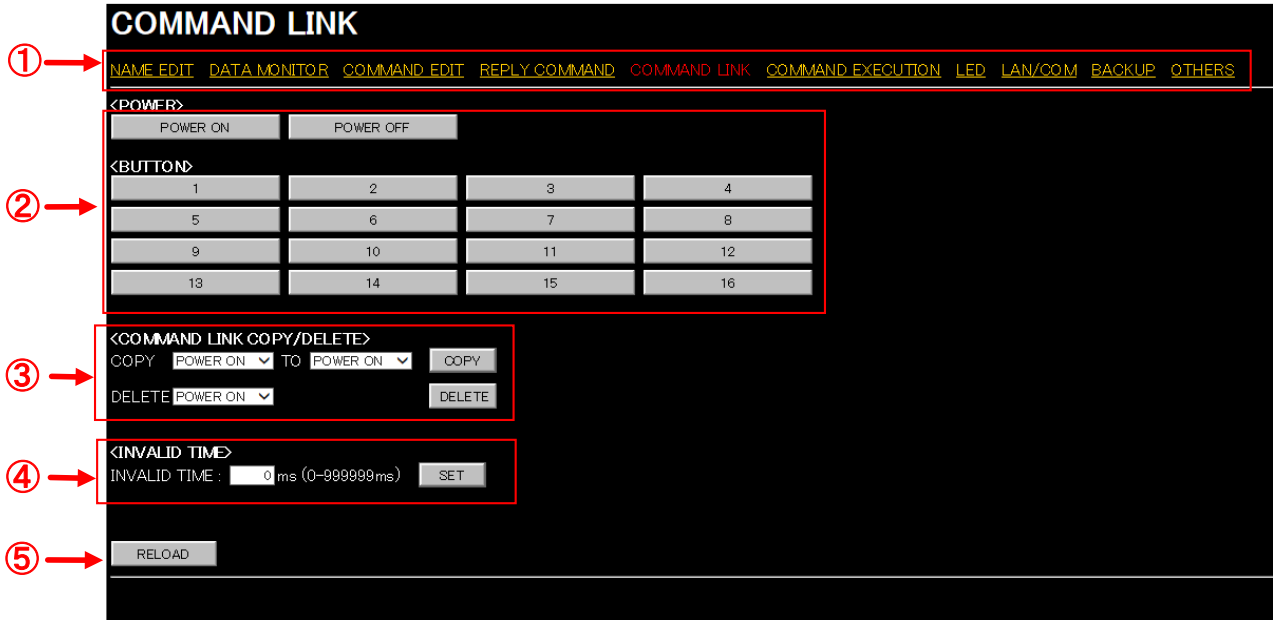
「SEND」ボタンをクリックすることで REPLYCOMMAND メニュー (返信コマンドの詳細設定) の設定内容を本機に設定します。

設定条件 なし

選択範囲 「SEND」ボタン：「SEND」ボタンをクリックする。

9.9 COMMAND LINK メニュー (ボタンの選択)

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)/commandlink.html」と入力すると、COMMAND LINK メニュー (ボタンの選択) が表示されます。どのボタンに登録した制御コマンドの関連付けを行うかを選択するメニューです。



[図 9.29] COMMAND LINK メニュー(ボタンの選択)

① WEB メニューのリンク	【9.9.1】	75 ページ
② 関連付け編集ボタン	【9.9.2】	75 ページ
③ 関連付けのコピーと削除	【9.9.3】	75 ページ
④ 制御コマンド実行時の操作無効時間	【9.9.4】	76 ページ
⑤ WEB メニュー再読み込み	【9.9.5】	76 ページ

9.9.1 WEB メニューのリンク

各 WEB メニューに移動するリンク一覧です。 クリックした名前の WEB メニューへ移動します。

設定条件 なし

選択範囲 リンク：リンクをクリックする。

9.9.2 関連付け編集ボタン

電源ボタンと制御コマンドボタンの関連付けを行うための関連付け編集ボタンです。関連付け編集ボタンをクリックすると、選択した実行条件のリンク付けメニューが表示されます。

設定条件 なし

選択範囲 [表 9.11] 関連付け編集ボタン

[表 9.11] 関連付け編集ボタン

電源ボタン		制御コマンドボタン
POWER ON	POWER OFF	制御コマンドボタン 1 ~ 制御コマンドボタン 16

【参照：7.7 制御コマンドの実行条件 (P.23)】

9.9.3 関連付けのコピーと削除

関連付けされた内容を他の実行条件にコピーと削除を行います。

ボタンをクリックすることで、選択した実行条件のリンク付けメニューが表示されます。

設定条件 なし

選択範囲 実行条件のコンボボックス : POWER ON、
POWER OFF、
制御コマンドボタン 1～ 制御コマンドボタン 16

「COPY」ボタン : 「COPY」ボタンをクリック

「DELETE」ボタン : 「DELETE」ボタンをクリック

下の設定で「COPY」ボタンをクリックしたときは、「POWER ON」にリンク付されている登録内容を制御コマンド 1 にコピーするという動作を行います。



[図 9.30] コピー設定

下の設定で「DELETE」ボタンをクリックしたときは、POWER ON にリンク付されている登録内容を削除します。



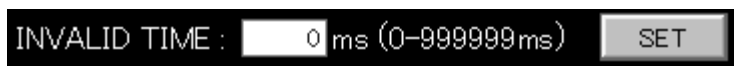
[図 9.31] 削除設定

9.9.4 制御コマンド実行時の操作無効時間

制御コマンドの実行を開始してから、次の制御コマンドの実行操作が可能になるまでの時間を設定します。この設定は、制御コマンドボタンの2度押しにより、連続して制御コマンドが実行されてしまうのを防止するときに使用します。

設定条件 なし

設定値 INVALID TIME : 0ms ~ 999999ms ※初期値 0ms



[図 9.32] 操作無効時間

一度制御コマンドを実行してから次の操作を受け付けるまでの時間は、制御コマンド実行中の時間または本メニューより設定した制御コマンドの操作無効時間のいずれか長い方になります。

操作無効になるのは制御コマンドを実行した LAN または RS-232C からの操作のみで、その他の LAN または RS-232C からの操作は可能です。

例えば、フロントパネルから制御コマンドを実行した場合は、制御コマンドの実行中の時間、または本メニューで設定した制御コマンドの操作無効時間を経過するまではフロントパネルからの操作が無効になります。

9.9.5 WEB メニュー再読み込み

表示されている WEB メニューを手動にて更新し、WEB ブラウザに表示します。

設定条件 なし

選択範囲 「RELOAD」ボタン：「RELOAD」ボタンをクリックする。

9.10 COMMAND LINK メニュー (リンク付け)

各実行条件に制御コマンドを関連付けするメニューです。



[図 9.33] COMMAND LINK メニュー(リンク付)

- | | | | | |
|---|---------------|-------|----------|--------|
| ① | WEB メニューのリンク | | 【9.10.1】 | 78 ページ |
| ② | 制御コマンドの関連付け | | 【9.10.2】 | 78 ページ |
| ③ | WEB メニュー再読み込み | | 【9.10.3】 | 79 ページ |
| ④ | 戻るボタン | | 【9.10.4】 | 79 ページ |
| ⑤ | 設定ボタン | | 【9.10.5】 | 79 ページ |

9.10.1 WEB メニューのリンク

各 WEB メニューに移動するリンク一覧です。クリックした名前の WEB メニューへ移動します。

設定条件 なし

選択範囲 リンク：リンクをクリックする。

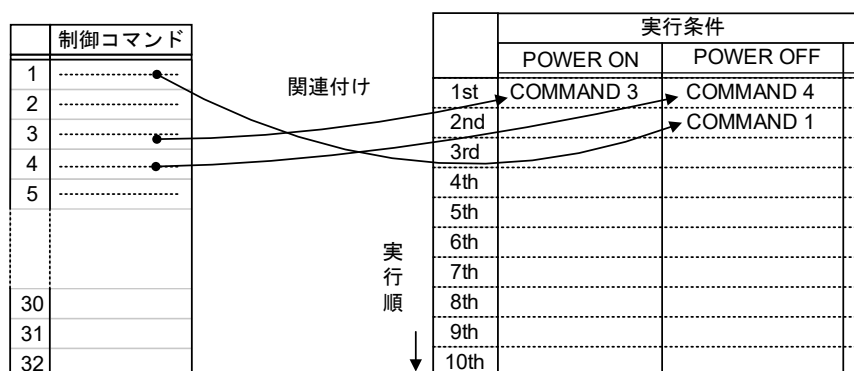
9.10.2 制御コマンドの関連付け

制御コマンドの実行条件一つにつき、最大 10 個のコマンドの関連付けができます。複数の制御コマンドが関連付けられた場合は、登録順に従い実行されます。また、同じコマンドを複数回関連付ければ、繰り返し実行されます。設定後には「SET」ボタンを押してください。

設定条件 制御コマンドの実行条件ごと

設定値 OFF ※初期値

制御コマンド 1 ~ 制御コマンド 32



[図 9.34] 制御コマンドの関連付け

※各機能は本機のボタン操作の他に、9.2 MAIN メニュー (P.36) や制御コマンドからの制御でも実行されます。(AC アダプタからの電力の供給では、POWER ON、POWER OFF は実行されません)

関連付けは、9.6.2 制御コマンドの設定 (P.48) で登録した制御コマンド 1 ~ 制御コマンド 32の中から選択し、実行しない場合は「OFF」を選択します。初期値は、すべての実行条件が「OFF」に設定されています。

実行条件が発生するたびに異なる動作を交互に実行する場合は、「TOGGLE」を「ON」に設定し、「PLANE A」、「PLANE B」それぞれに関連付けを行いません。このとき、本機の電源ボタン ON 時に実行する面は、「AUTO」、「PLANE A」、「PLANE B」から選択することができ、「AUTO」に設定すると前回電源 OFF 時に最後に実行した面と反対側の面を実行します。初期値は、すべての実行条件の「TOGGLE」が「OFF」に設定されています。

9.10.3 WEB メニュー再読み込み

表示されている WEB メニューを手動にて更新し、WEB ブラウザに表示します。

設定条件 なし

選択範囲 「RELOAD」ボタン：「RELOAD」ボタンをクリックする。

9.10.4 戻るボタン

ボタンをクリックすることで COMMAND LINK メニュー (ボタンの選択) に戻ります。

設定条件 なし

選択範囲 「BACK」ボタン：「BACK」ボタンをクリックする。

9.10.5 設定ボタン

「SEND」ボタンをクリックすることで COMMAND LINK メニュー (リンク付け) の設定内容を本機に設定します。

設定条件 なし

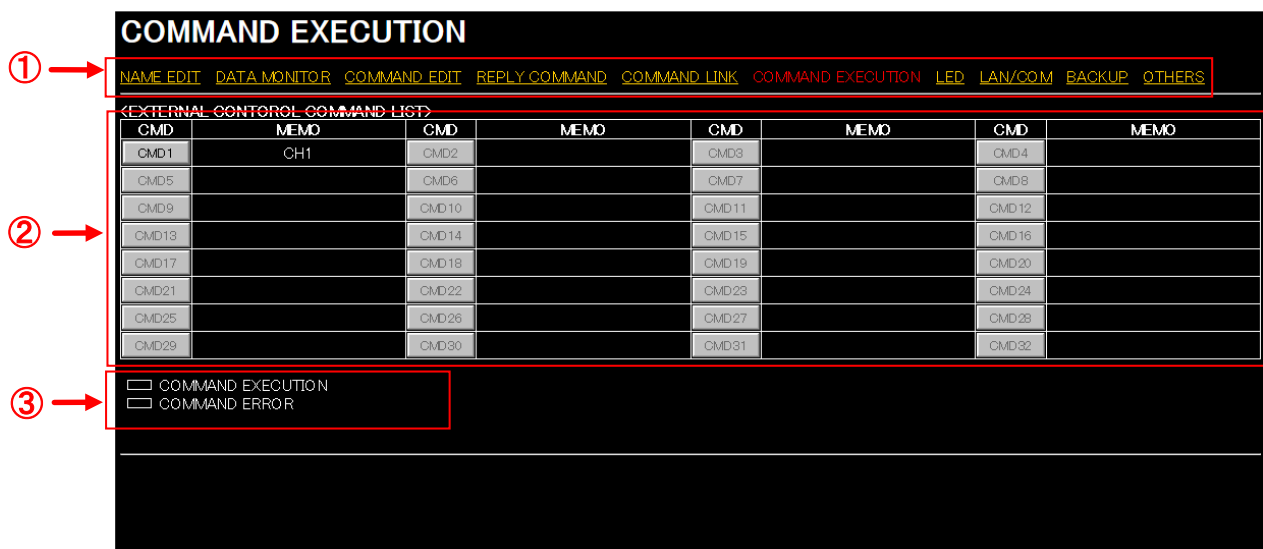
選択範囲 「SEND」ボタン：「SEND」ボタンをクリックする。

9.11 COMMAND EXECUTION メニュー

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)/commandexecution.html」と入力すると、COMMAND EXECUTION メニューが表示されます。

本機に登録を行なった制御コマンドの単体実行ができます。

単体実行を行う場合は、制御コマンドに登録されていてかつ、本機の電源が ON になっている必要があります。



[図 9.35] COMMAND EXECUTION メニュー

- | | | |
|----------------------|----------|--------|
| ① WEB メニューのリンク | 【9.11.1】 | 81 ページ |
| ② 制御コマンドの実行 | 【9.11.2】 | 81 ページ |
| ③ 制御ステータス LED | 【9.11.3】 | 81 ページ |

9.11.1 WEB メニューのリンク

各 WEB メニューに移動するリンク一覧です。 クリックした名前の WEB メニューへ移動します。

設定条件 なし

選択範囲 リンク：リンクをクリックする。

9.11.2 制御コマンドの実行

登録がされている制御コマンド 1 ～ 制御コマンド 32 の単体実行を行うことができます。

ボタンを押すと、制御コマンドを実行します。

設定条件 なし

選択範囲 「CMD」ボタン：ボタンをクリックする。

9.11.3 制御ステータス LED

WEB ブラウザに表示されている LED の色により、現在の制御の状態が確認できます。

COMMAND EXECUTION は、本機が外部機器の制御コマンドを実行している最中に橙色に点灯します。

COMMAND ERROR は、本機と制御される機器の間でタイムアウトが発生した場合や IDK 製品または PJLink 製品のエラーが返信されたときに橙色に点灯します。

設定条件 なし

色の状態 COMMAND EXECUTION

黒色：未実行

橙色：実行中

COMMAND ERROR

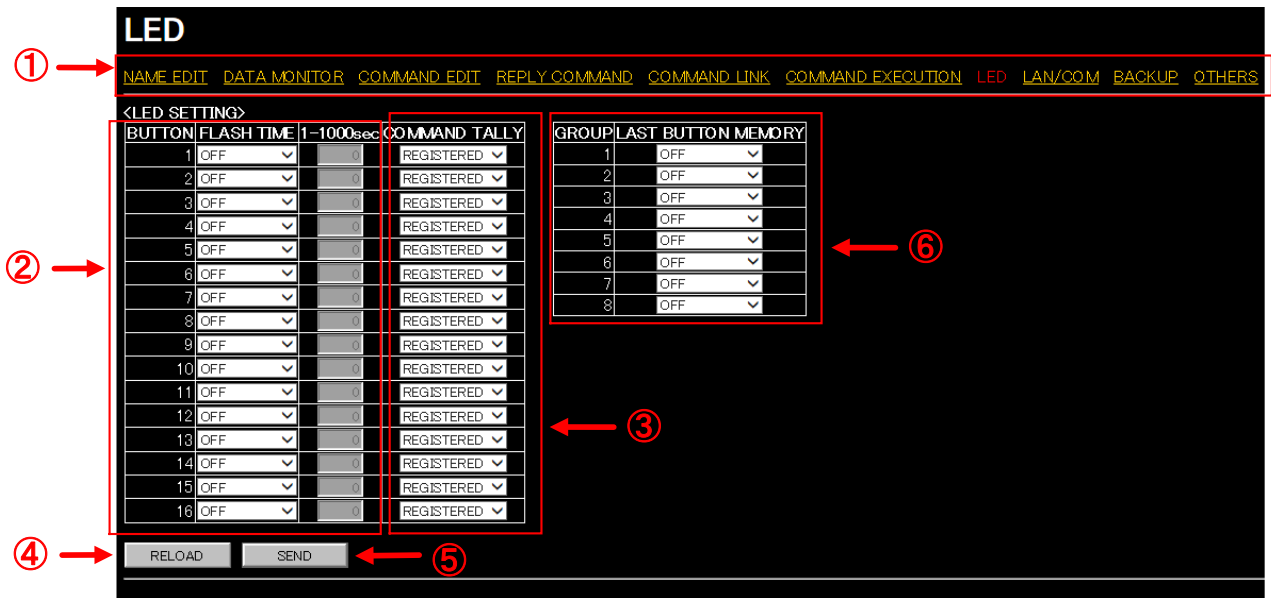
黒色：通常状態

橙色：エラー発生

【参照：7.6 制御ステータス LED の点滅条件 (P.22)】

9.12 LED メニュー

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)/led.html」と入力すると、LED メニューが表示されます。制御コマンドボタンの点灯条件や点滅方法の設定をします。



[図 9.36] LED メニュー

- | | | | |
|-----------------|-------|----------|--------|
| ① WEB メニューのリンク | | 【9.12.1】 | 83 ページ |
| ② 点滅パターン | | 【9.12.2】 | 83 ページ |
| ③ 点灯条件 | | 【9.12.3】 | 83 ページ |
| ④ WEB メニュー再読み込み | | 【9.12.4】 | 85 ページ |
| ⑤ 設定ボタン | | 【9.12.5】 | 85 ページ |
| ⑥ グループ設定での起動時点灯 | | 【9.12.6】 | 85 ページ |

9.12.1 WEB メニューのリンク

各 WEB メニューに移動するリンク一覧です。 クリックした名前の WEB メニューへ移動します。

設定条件 なし

選択範囲 リンク : リンクをクリックする。

9.12.2 点滅パターン

制御コマンド実行中の、制御コマンドボタンの LED 点灯パターンを設定します。

指定された時間を経過しても制御コマンドの実行が終了していない場合は、制御コマンドの実行が終了するまで点滅が継続します。

また、TIMEを設定した場合は任意の時間が来るまで点滅を行います。

すべての設定が完了後、「SEND」ボタンをクリックしてください。

設定条件 制御コマンドボタンごと

設定値 EXECUTION : 制御コマンド実行中に点滅する ※初期値

OFF : 点滅しない

TIME : 指定時間 (1 秒 ~ 1000 秒) 点滅する

9.12.3 点灯条件

制御コマンドボタンの点灯条件を設定します。

点灯条件は次の 3 つから選択できます。

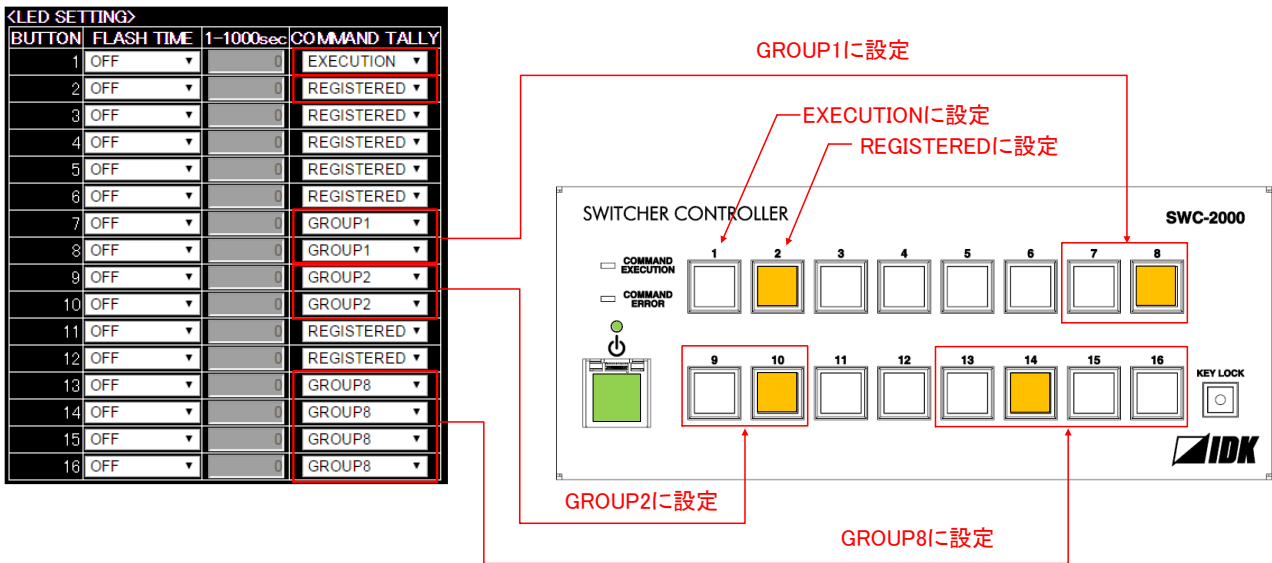
- ・ 制御コマンドが登録されている場合に点灯する。
- ・ 制御コマンドが実行中に点灯する。
- ・ 制御コマンドボタンが最大 8 グループにグループ化され、各グループの中で最後に押したボタンを点灯する。

ただし、制御コマンドボタンが、“グループ” に設定されているときの点灯条件は次のとおりとなります。

- ・ 制御コマンドが制御コマンドボタンに関連付けられ、かつそのボタンを押したときに点灯します。なお、制御コマンドボタンは、制御コマンドがエラーなど実行結果に関わらず点灯します。
- ・ 制御コマンドが制御コマンドボタンに関連付けられていないときは、そのボタンを押しても点灯しません。また、同じグループに設定される他の制御コマンドボタンが点灯している場合、そのボタンの点灯は維持されます。

すべての設定が完了後、「SEND」ボタンをクリックしてください。

(例)制御コマンドボタン1, 2, 7 ~ 10, 13 ~ 18に制御コマンドを関連付けたときの点灯条件



[図 9.37] 制御コマンドボタンへの点灯条件の設定

設定条件 制御コマンドボタンごと

設定値 REGISTERED : 制御コマンドが登録されている場合に点灯する※1 ※初期値
 EXECUTION : 制御コマンドが実行中に点灯する※1,※2
 GROUP1~8 : 各グループの中で最後に押した制御コマンドボタンが点灯する

※1 制御コマンドボタンは実行条件ごとに2面分 (PLANE A、 PLANE B) の領域を持っています。2面それぞれに制御コマンドを登録した場合、制御コマンドボタンを押すたびに交互に制御コマンドを実行します。この場合は、以下の動作になります。

[表 9.12] 制御コマンドボタンの点灯条件 (トグル動作)

点灯条件設定	1面のみ登録した場合	2面に登録した場合
REGISTERED	制御コマンドが登録されている場合に点灯。	次に制御コマンド実行ボタンを押したときに PLANE A が実行される場合は点灯、PLANE B が実行される場合は点滅。
EXECUTION	制御コマンド実行中に点灯。	次に制御コマンド実行ボタンを押したときに、PLANE A が実行される場合は点灯、PLANE B が実行される場合は消灯。

※2 実行時間が 500 ms 以下の場合は、500 ms 期間点灯します。

9.12.4 WEB メニュー再読み込み

表示されている WEB メニューを手動にて更新し、WEB ブラウザに表示します。

設定条件 なし

選択範囲 「RELOAD」ボタン：「RELOAD」ボタンをクリックする。

9.12.5 設定ボタン

「SEND」ボタンをクリックすることで LED メニューの設定内容を本機に設定します。

設定条件 なし

選択範囲 「SEND」ボタン：「SEND」ボタンをクリックする。

9.12.6 グループ設定での起動時点灯

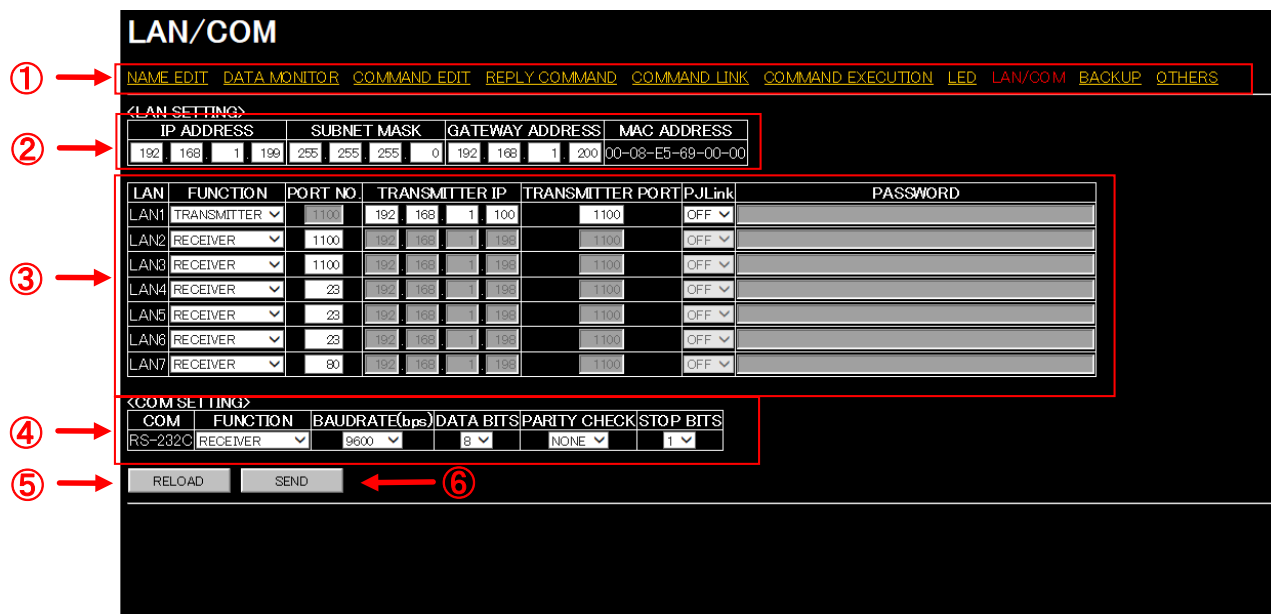
9.12.3 点灯条件 (P.83) で点灯条件を“GROUP”に設定した制御コマンドボタンに対して、本機の電源を ON にしたときの点灯状態を設定します。

設定条件 グループごと

選択範囲 ON : 前回の電源 OFF 直前の点灯状態を再現
OFF : 消灯 ※初期値

9.13 LAN / COM メニュー

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)/lancom.html」と入力すると、LAN / COM メニューが表示されます。本機と外部機器を接続するための LAN 通信および RS-232C 通信の設定をします。



[図 9.38] LAN / COM メニュー

- ① WEB メニューのリンク 【9.13.1】 87 ページ
- ② WEB ブラウザ用の LAN 通信設定
 - IP アドレス 【9.13.2】 87 ページ
 - サブネットマスク 【9.13.2】 87 ページ
 - ゲートウェイアドレス 【9.13.2】 87 ページ
 - MAC アドレス 【9.13.2】 87 ページ
- ③ LAN 通信の動作モード 【9.13.3】 88 ページ
- ④ RS-232C 通信の設定 【9.13.4】 89 ページ
- ⑤ WEB メニュー再読み込み 【9.13.5】 89 ページ
- ⑥ 設定ボタン 【9.13.6】 89 ページ

9.13.1 WEB メニューのリンク

各 WEB メニューに移動するリンク一覧です。 クリックした名前の WEB メニューへ移動します。

設定条件 なし

選択範囲 リンク : リンクをクリックする。

9.13.2 IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレス / MAC アドレス

外部から本機を制御するIPアドレス、サブネットマスクおよびゲートウェイアドレスを設定します。また本機の MAC アドレスも表示されます。MAC アドレスについては表示のみで設定はできません。すべての設定が完了後、「SEND」ボタンをクリックしてください。

設定条件 なし

設定値 [表 9.13] アドレスの設定

[表 9.13] アドレスの設定

項目	設定値	初期値
IP アドレス	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	192.168.1.199
サブネットマスク	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	192.168.1.200

9.13.3 LAN 通信の動作モード

LAN 通信の動作モードを設定します。

動作モードは、外部から本機を制御する“受信モード (RECEIVER)”と、本機から外部機器を制御する“送信モード (TRANSMITTER)”があります。

“送信モード (TRANSMITTER)”を選択した場合は、接続する外部機器の情報を設定します。

コネクションは、設定したポート番号により通信コマンド制御用とWEBブラウザ制御用に分けられます。使用用途により設定します。すべての設定が完了後、「SEND」ボタンをクリックしてください。

設定条件 コネクションごと

設定値 [表 9.14] LAN 通信の動作モード設定

[表 9.15] TCP ポート番号の設定

[表 9.14] LAN 通信の動作モード設定

設定内容	動作モード	
	受信モード	送信モード
動作モード	RECEIVER※初期値	TRANSMITTER
接続先 IP アドレス	—	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 ※初期値 192.168.1.199
PJLink プロトコル接続	—	ON : 使用する OFF : 使用しない ※初期値
接続先ポート番号※1	—	1 ~ 65535 ※初期値 1100
PJLink プロトコルのパスワード※2	—	ASCII コード (16 進表記) の 20、30 ~ 39、 41 ~ 5A、61 ~ 7A ※初期値 20 (スペース)

【記号】 — : 設定不要

※1 : PJLink プロトコル接続をする場合の接続先ポート番号は、“4352”固定です。

※2 : PJLink プロトコル接続をする場合のパスワード数は、最大 32 文字です。

パスワードによる認証を行わない場合は、設定する必要はありません。

[表 9.15] TCP ポート番号の設定

用途	設定値
制御コマンドの通信ポート	23、1100、6000 ~ 6999
WEB ブラウザの通信ポート	80、5000 ~ 5999

※初期値 コネクション 1 ~ 3 = 1100、コネクション 4 ~ 6 = 23、コネクション 7 = 80

【参考】

本機は、可変できるコネクション以外に、WEB ブラウザ専用の通信ポートが 1 ポート設定されています。そのため、パソコン 1 台のみで操作を行う場合は、コネクションの設定は不要となります。

9.13.4 RS-232C 通信の設定

RS-232C 通信の設定をします。

動作モードは、外部から本機を制御する“受信モード (RECEIVER)”と、本機から外部機器を制御する“送信モード (TRANSMITTER)”があります。

すべての設定が完了後、「SEND」ボタンをクリックしてください。

設定条件 なし

設定値 [表 9.16] RS-232C 通信の設定項目

[表 9.16] RS-232C 通信の設定項目

設定項目	設定値	初期値
動作モード	RECEIVER、TRANSMITTER	RECEIVER
通信速度 [bps]	4800、9600、19200、38400	9600
データビット長 [bit]	8、7	8
パリティチェック	NONE (なし)、EVEN (偶数)、ODD (奇数)	NONE
ストップビット[bit]	1、2	1

9.13.5 WEB メニュー再読み込み

表示されている WEB メニューを手動にて更新し、WEB ブラウザに表示します。

設定条件 なし

選択範囲 「RELOAD」ボタン：「RELOAD」ボタンをクリックする。

9.13.6 設定ボタン

「SEND」ボタンをクリックすることで LAN / COM メニューの設定内容を本機に設定します。

設定条件 なし

選択範囲 「SEND」ボタン：「SEND」ボタンをクリックする。

9.14 BACKUP / RESTORE メニュー

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)/backup.html」と入力すると、BACKUP / RESTORE メニューが表示されます。

本機の設定内容を、パソコンにファイルとしてバックアップすることができます。
バックアップしたデータは、複数台の SWC-2000 に設定を適用することができます。



[図 9.39] BACKUP / RESTORE メニュー

- | | | |
|----------------|-------|-----------------|
| ① WEB メニューのリンク | | 【9.14.1】 91 ページ |
| ② 設定のバックアップ | | 【9.14.2】 91 ページ |
| ③ バックアップ設定の適用 | | 【9.14.3】 91 ページ |

9.14.1 WEB メニューのリンク

各 WEB メニューに移動するリンク一覧です。 クリックした名前の WEB メニューへ移動します。

設定条件 なし

選択範囲 リンク : リンクをクリックする。

9.14.2 設定のバックアップ

「DOWNLOAD」リンクをクリックすると本機に保存されたすべての設定データをダウンロードします。ダウンロードした設定データは、バックアップファイルとしてパソコンに保存することができます。

設定条件 なし

選択範囲 「DOWNLOAD」リンク : 「DOWNLOAD」リンクをクリックする。

9.14.3 バックアップ設定の適用

バックアップファイルとして保存した設定データを本機に適用します。

「参照」ボタンをクリックし、あらかじめ保存したバックアップファイルを選び、「RESTORE」ボタンをクリックすると、本機の全設定がバックアップファイルの設定内容に上書きされます。

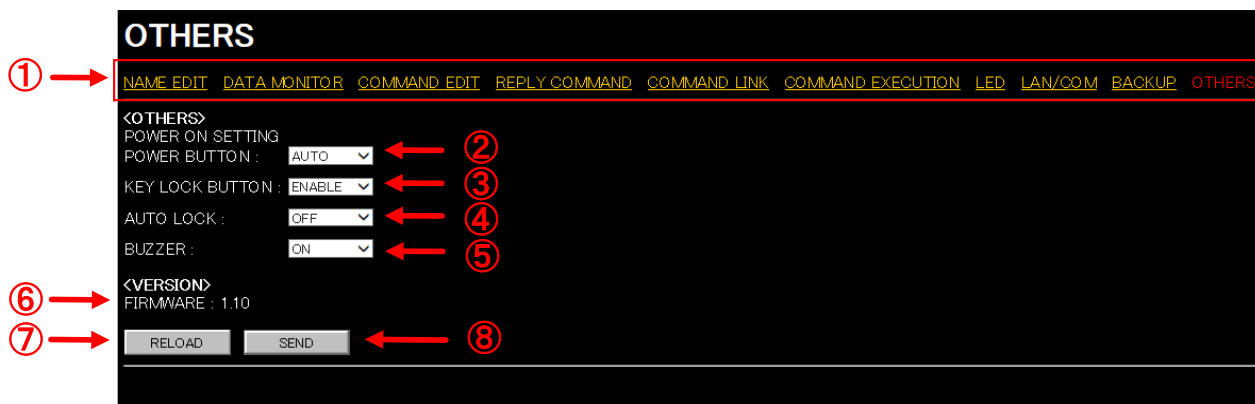
設定条件 なし

選択範囲 「参照」ボタン : 「参照」ボタンをクリックする。

「RESTORE」ボタン : 「RESTORE」ボタンをクリックする。

9.15 OTHERS メニュー

アドレスバーに「http://(本機の IP アドレス)/others.html」と入力すると、OTHERS メニューが表示されます。通信設定と各バージョン番号を表示します。



[図 9.40] OTHERS メニュー

①	WEB メニューのリンク	【9.15.1】	93 ページ
②	電源ボタンの起動時設定	【9.15.2】	93 ページ
③	KEYLOCK ボタンの設定	【9.15.3】	93 ページ
④	制御コマンドボタンの自動ロック	【9.15.4】	94 ページ
⑤	ブザー音の設定	【9.15.5】	94 ページ
⑥	バージョン情報	【9.15.6】	94 ページ
⑦	WEB メニュー再読み込み	【9.15.7】	94 ページ
⑧	設定ボタン	【9.15.8】	94 ページ

9.15.1 WEB メニューのリンク

各 WEB メニューに移動するリンク一覧です。クリックした名前の WEB メニューへ移動します。

設定条件 なし

選択範囲 リンク：リンクをクリックする。

9.15.2 電源ボタンの起動時設定

本機に電力が供給されたときに、電源ボタンの前回の電力を切ったときの電源ボタンの状態を維持するか、電源 ON または OFF の状態に設定することが可能です。

設定条件 なし

設定値 AUTO：前回の状態を維持する。※ 初期値

OFF：電源 OFF

ON：電源 ON

[表 9.17] 起動時設定表

電源ボタンの 初期値設定	前回、電力を切ったときの 電源ボタンの状態	電力の供給を 行なった場合
AUTO	OFF	OFF
	ON	ON
OFF		OFF
ON		ON

※ 前回の電力の供給が切られたときに、電源ボタンが ON または OFF の状態かを維持するか、ON または OFF の状態に設定することができます。

9.15.3 KEYLOCK ボタンの設定

KEYLOCK ボタンを有効または無効にすることが可能です。

本メニューにて DISABLE(無効)を選択している場合は、制御コマンドボタンの自動ロックは「OFF」になります。

設定条件 なし

設定値 ENABLE：KEYLOCK ボタンを有効にします。※初期値

DISABLE：KEYLOCK ボタンを無効にします。

9.15.4 制御コマンドボタンの自動ロック

自動ロックを有効に設定すると、約 30 秒間ボタンによる操作を行わなかった場合、自動的に制御コマンドボタンがロック状態になります。

また、本メニューを設定するためには、KEYLOCK ボタンの設定を有効にする必要があります。

設定条件	なし
設定値	ON : 自動ロック有効 OFF : 自動ロック無効 ※初期値

9.15.5 ブザー音の設定

制御コマンドボタンと KEYLOCK ボタンを押したときのブザー音の有効または無効を設定します。

設定条件	なし
設定値	ON : ブザー音 有効 ※初期値 OFF : ブザー音 無効

9.15.6 バージョン情報

本機の製品名とファームウェアのバージョンを表示します。

設定条件	なし
表示内容	製品名 : ファームウェアのバージョンの表示

9.15.7 WEB メニュー再読み込み

表示されている WEB メニューを手動にて更新し、WEB ブラウザに表示します。

設定条件	なし
選択範囲	「RELOAD」ボタン : 「RELOAD」ボタンをクリックする。

9.15.8 設定ボタン

「SEND」ボタンをクリックすることで OTHERS メニューの設定内容を本機に設定します。

設定条件	なし
選択範囲	「SEND」ボタン : 「SEND」ボタンをクリックする。

10 製品仕様

項目		内容
制御コマンドボタン数		16 個
関連付け可能な制御コマンド数		各制御コマンドボタンにつき最大 10 コマンド
登録可能な制御コマンド数		SWC-2000 本体に最大 32 コマンド
外部制御	RS-232C	1 系統 D-sub9 ピンコネクタ・オス
	LAN	1 系統 RJ-45 コネクタ 10Base-T / 100Base-TX (Auto Negotiation)、Auto MDI / MDI-X
推奨製品		MSD と FDX の各シリーズ、PLink 対応機器、その他汎用機器
その他仕様	AC アダプタ	入力 : AC ~ 100 V - 240 V±10 %、50 Hz / 60 Hz±3 Hz 出力 : DC 5 V 2 A 10.0 W (専用 AC アダプタ付属)
	消費電力	約 3 W
	外形寸法	215 (W) × 88 (H) × 40.6 (D) mm (突起物含まず) (注)
	質量	0.8 kg
	温度	使用範囲 : 0 °C ~ +40 °C 保存範囲 : -20 °C ~ +80 °C
	湿度	使用範囲 : 20 % ~ 90 % (ただし結露なきこと) 保存範囲 : 20 % ~ 90 % (ただし結露なきこと)
	付属品	ネジ式ロック付き AC アダプタ (1.5 m)
	オプション	ラック取付金具 (RM-SWC2001、RM-SWC2002)

(注) EIA ラックに SWC-2000 を設置するときは、オプションのラック取付金具をご使用ください。
このラック取付金具を使用することで、EIA ラック 2U に、SWC-2000 を 1 台または 2 台設置ができます。

■ 推奨製品の型番

製品分類		製品型番
弊社製品	MSD シリーズ	MSD-701AMP、MSD-6203、MSD-6204、MSD-6206、MSD-6208、MSD-701UHD、MSD-702UHD、MSD-801UHD、MSD-802UHD、MSD-7201UHD、MSD-7202UHD、MSD-7203UHD、MSD-7204UHD、MSD-7201UHDTB、MSD-7202UHDTB、MSD-7203UHDTB、MSD-7204UHDTB、MSD-402、MSD-501、MSD-502、MSD-701、MSD-702、MSD-EX32
	FDX-S シリーズ	FDX-S16U、FDX-S32U、FDX-S16、FDX-S32
	FDX シリーズ	FDX-12UHD、FDX-32UHD、FDX-08、FDX-16、FDX-32、FDX-64
その他製品		PLink 対応機器、その他汎用機器

11 正常に動作しないときは

本機が正常に動作しないときは、まず以下の点をご確認ください。

- ・ 本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・ 機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・ 接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・ 制御対象機器は正しく設定されていますか？
- ・ 機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

問題が解決しない場合は、以下の点をご確認ください。

本機に接続されている機器に原因がある場合もありますので、そちらの取扱説明書も参照しながらご確認ください。

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
●ボタン操作		
ボタン操作ができない	ボタンの操作がロックされていませんか？	24
	工場出荷時は制御コマンドが登録されていないため、制御コマンドボタンを操作しても機能しません。制御コマンドボタンを操作する場合は、制御コマンドの登録と関連付けをしてください。	44、74、86
	制御コマンドボタンまたは外部機器からのコマンドによる制御コマンドを実行した場合、制御コマンドの実行が終了するか、または操作無効時間を経過するまではすべてのボタン操作が無効になります。	76
	制御コマンドボタンは誤操作を防止するため、任意の時間、ボタンの操作を無効になるよう設定することができます。設定をご確認ください。	24
	電源投入直後は外部機器の接続確認が終了するまですべてのボタン操作が無効になります。	21
●制御コマンド		
パソコンから本機の制御コマンドが通信できない	RS-232C 通信の場合は通信速度やデータビット長など、LAN 通信の場合は IP アドレスやサブネットマスクなどが正しく設定されていますか？	87
	通信ポートの動作モードは、“受信モード”に設定されていますか？ “送信モード”に設定した場合、外部から本機の制御コマンドを通信することはできません。	88
@ERR.6 が返信される	制御コマンドにより制御コマンドを実行した場合、制御コマンドの実行が終了するか、または操作無効時間を経過するまでは制御コマンドの通信が無効になります。	76
	電源投入直後は、外部機器の接続確認が終了するまで制御コマンドの通信が無効になります。	21

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
●制御コマンド送信機能		
制御コマンドが送信されない	登録した制御コマンドおよびバイト数は間違っていないですか？ 登録した制御コマンドを再度ご確認ください。特にデリミタを必要とする機器は、デリミタが送信されないとコマンドが実行されない場合があります。また設定したバイト数が間違っていると、制御コマンドが途中までしか送信されないか、または制御コマンドの後ろに不要なデータが送信されます。	48
	登録した制御コマンドが目的の制御コマンド実行条件にリンクされていますか？	78
	通信ポートの動作モードは、“送信モード”に設定されていますか？ 制御コマンドを送信する通信ポートは、“送信モード”に設定してください。またLANを使用する場合は、接続する機器のIPアドレスなどを設定してください。	86
●WEBメニュー		
設定した内容が記憶されない、または実動作に反映されない	WEBメニューによっては、最後に「SEND」ボタンまたは「SET」ボタンを押さないと設定した内容が反映されない場合があります。	35

以上の内容を確認しても問題が解決しない場合は、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。故障の連絡をするときには以下の点を事前にテストしてください。

No.	確認内容	結果
1	すべてのコネクタで同じ現象がでますか？	はい / いいえ
2	本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？	はい / いいえ

SWC-2000 取扱説明書

<ユーザーズガイド>

Ver.1.6.0

発行日 2026 年 3 月 2 日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第 2 ビル 5 階
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル 3 階
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

E メールアドレス info@idk.co.jp **ホームページ** <http://www.idk.co.jp/>